

NETIMPRESS air

**CAN Flash Programmer & Logger
スタートアップマニュアル
(ロガー編)**

改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第1版	2015.05.18	新規発行
第2版	2017.06.06	ソフトウェアインストール画面の修正 不要な手順を削除

< ご注意 >


- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点やお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の内容の影響については、(3)項にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本書に記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標、または商標です。

はじめに

「NETIMPRESS air スタートアップマニュアル (ロガー編)」(以下、本マニュアル)は、NETIMPRESS air シリーズ製品を購入してからロギングを開始するまでの一連の操作を順に示したドキュメントです。

NETIMPRESS air シリーズ製品で、ロギング環境を構築する前にお読みください。

また、本マニュアルで使用している画面は、Windows 7 環境で作成しています。他の環境をお使いの場合、表示や操作手順が異なる場合があります。

 本マニュアルにおける「ロギング」とは、ターゲットシステムの CAN 通信のモニタのことをさしています。

アイコンについて

本ガイドで使用しているアイコンには、以下の意味があります。



特に重要な情報を記載しています。操作する際は十分に注意してください。



操作を進める上で役に立つ情報やアドバイスなどの補足事項を記載しています。



本マニュアルのほかのページやほかのマニュアルなどの参照情報を記載しています。

用語一覧

用語	説明
ロガーライセンス	本機をロガーとして使用する際に必要なライセンスです。
ロガーファーム	本機をロギング動作させるために必要なファームウェアです。
本体ファーム	本機のファームウェアです。
ストレージモード	本機をスタンドアロンでロガー動作させる際の呼称です。
モニタモード	本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)からロガー動作させる際の呼称です。
ロギング設定	本機をロガー動作させる際の条件です。
ロギング設定ファイル	ロギング設定を記録したファイルです。
ログファイル	本機でロギングした CAN メッセージを記録したファイルです。CSV 形式で記録されます。
ビューフィルタ	AZ992 上で実行可能な、ログデータのフィルタ処理です。

目次

1. 概要・特長	5
1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要.....	5
1.2. 通信環境	6
1.3. ログイン開始までの流れ	6
2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成).....	7
2.1. ハードウェア.....	7
2.2. ソフトウェア.....	8
2.2.1. ソフトウェアの使用環境.....	9
3. ソフトウェアのセットアップ.....	10
3.1. ソフトウェアのインストール.....	10
3.1.1. AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストール手順.....	11
3.2. USB 接続設定	18
3.2.1. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定).....	18
3.3. Wireless LAN 環境設定	20
3.3.1. Wireless LAN 接続設定	20
3.3.2. PC との接続 (AZ992:NETIMPRESS air Logger 設定).....	26
4. ログイン環境のセットアップ.....	28
4.1. ロガーライセンスの追加	28
4.1.1. 本機へのロガーライセンス追加手順	28
4.2. ロガーファームの書き込み	31
4.2.1. 本機へのロガーファーム書き込み	31
4.3. ログイン設定.....	33
4.4. ターゲットシステムとの接続.....	37
5. ログイン実行	38
6. スタンドアロンで使用する	42
6.1. ロガー設定ファイルの作成	42
6.2. 動作モードの切り替え	47
6.3. ロガー設定ファイルの選択	48
6.4. ログイン実行.....	49

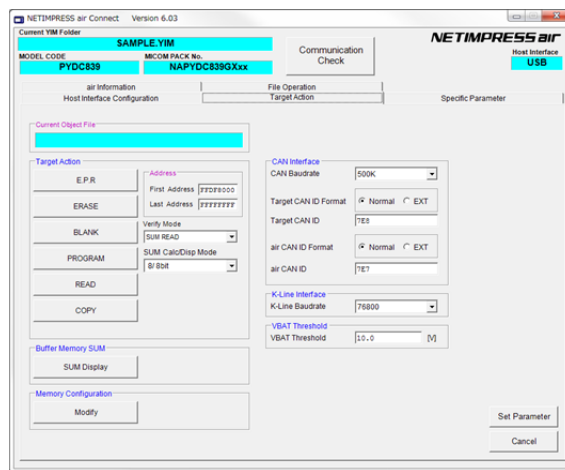
1. 概要・特長

この章では、NETIMPRESS air シリーズ（以下、本機）の製品概要、ロガー環境の構成、および、ロギング開始までに必要な操作の流れについて説明します。

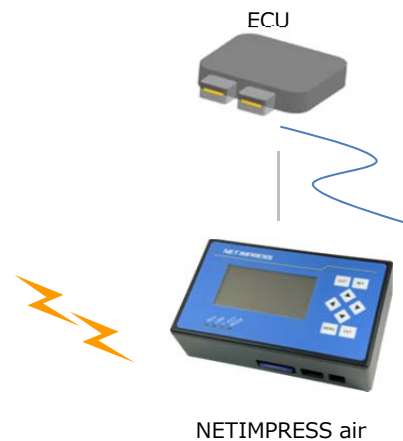
1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要

NETIMPRESS air は ECU 開発・評価・フィールドサービスでご利用頂けるコンパクトな CAN Flash Programmer& Logger ツールです。USB を標準搭載しているので、PC から USB 経由で制御・実行できるほか、WLAN モデル（/W モデル）は、USB に加えて Wireless LAN を搭載しているため、ワイヤレス環境でも実行・制御することが可能です。

本機は、車載バッテリーからの電源供給(12V)で動作しますので、スタンドアロン環境（PC レス環境）でもプログラミングやロギングを実行することが可能です。



NETIMPRESS air Connect



NETIMPRESS air

本機に挿入する専用 SD カード内に、各種マイコンのプログラミング用のファームデータ（定義体）を追加することにより、各種デバイス（ECU）に対応することができます。

また、ロガー用ライセンスを追加することにより、SD カード内にロギングデータを保存することもできます。

PC に AZ990(プログラミング専用 PC ソフトウェア)、AZ992 (ロガー用専用 PC ソフトウェア) をインストールすれば、USB や WLAN 経由でプログラミングやロギングに関する実行・制御・条件設定などの操作が可能です。

また、設定条件等は専用 SD カード内に保存されますので、スタンドアロン(PC レス)でもご使用いただけます。

1.2. 通信環境

ホスト PC と本機の通信には、USB および Wireless LAN を使用します。

USB で使用する時は、専用のドライバが必要です。

Wireless LAN で使用する時は、アクセスポイントまたは Wireless LAN 接続可能なホスト PC が必要です。

1.3. ログイン開始までの流れ

製品を購入してから、使用開始するまでの基本的な流れを以下に示します。

具体的な設定手順については、それぞれの参照先をご覧ください。



2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成)

2.1. ハードウェア

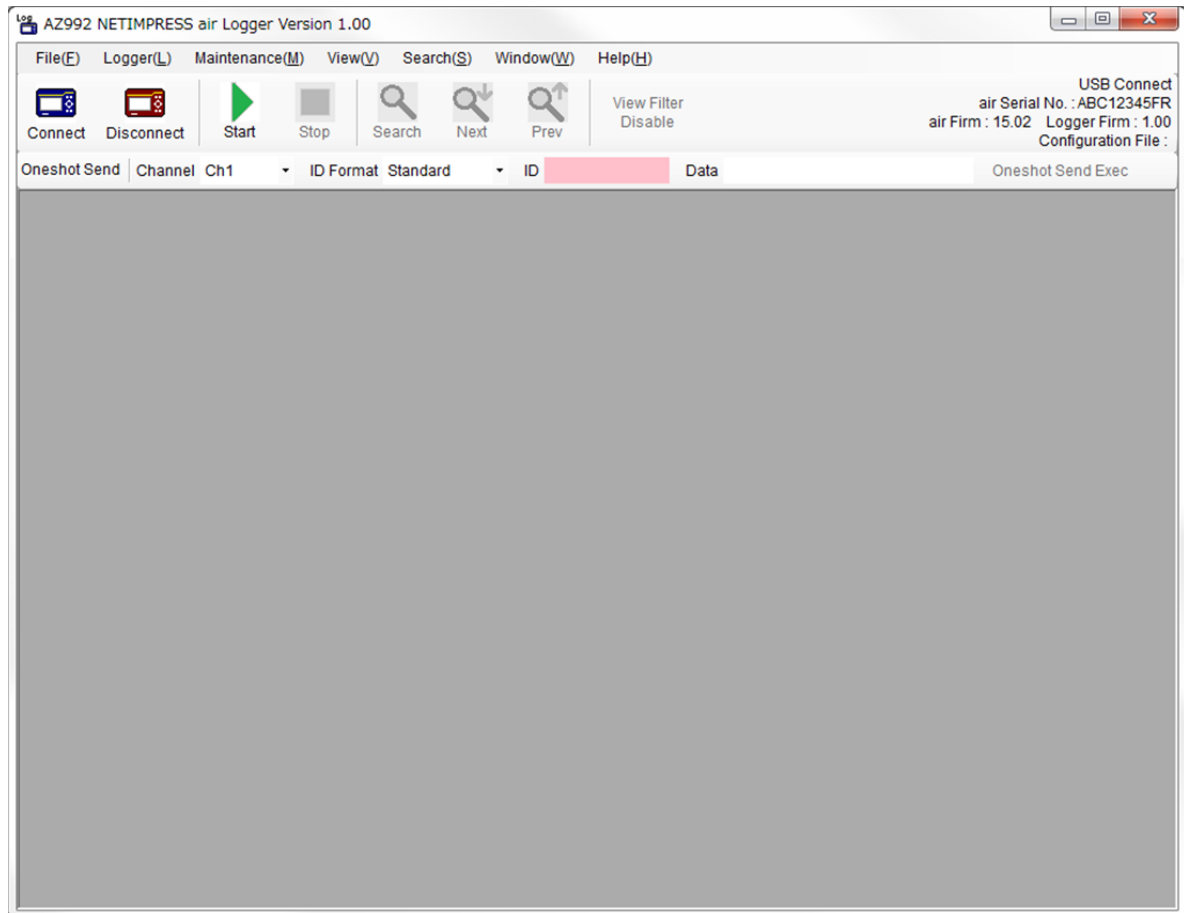
- NETIMPRESS air 本体(型番 AF930 or AF930/W)
- 専用 SD カード(型番 FX900)
- ターゲットプローブ
お客様のご利用になるターゲットシステム環境により異なります。
- ホスト PC
Windows 7 (32bit/64bit)
- USB ケーブル
ホスト PC と直接接続して使用します。



USB を使用する場合は必ず、製品に付属の USB ケーブルを使用してください。

2.2. ソフトウェア

- AZ992 (NETIMPRESS air Logger)
各種ファイルのダウンロード、ロギング設定、ロギングの実行、ロガーライセンス追加、ファームアップデート等をおこなう際に使用します。



2.2.1. ソフトウェアの使用環境

OS	Windows7 32bit 版 (Professional) もしくは 64bit 版(Professional) 日本語版、英語版
CPU	1GHz 以上
メモリ	1GByte 以上
モニタ	1024x768 以上
その他	.NET Framework 3.5 を使用 USB2.0 コネクタ(USB 接続時) Wireless LAN 環境(Wireless LAN 接続時)

3. ソフトウェアのセットアップ

3.1. ソフトウェアのインストール

プログラミング環境の構築にあたり、下記のソフトウェアを使用します。

- AZ992 (NETIMPRESS air Logger)

これらの、本機への各種設定をおこなうソフトウェアは弊社ホームページから提供しています。

下記の URL からダウンロード取得してください。

https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1



本マニュアルでは、最新版の AZ992 の使用を前提としています。古いバージョンをご使用の場合、画面構成が異なる箇所がありますので、上記リンクから最新版をダウンロード・インストールしてご使用下さい。

ソフトウェアは、自己解凍形式ファイルとなっていますので、ホスト PC 上で解凍の上、インストールを行ってください。ソフトウェアのインストールが完了すると、デフォルトでは、

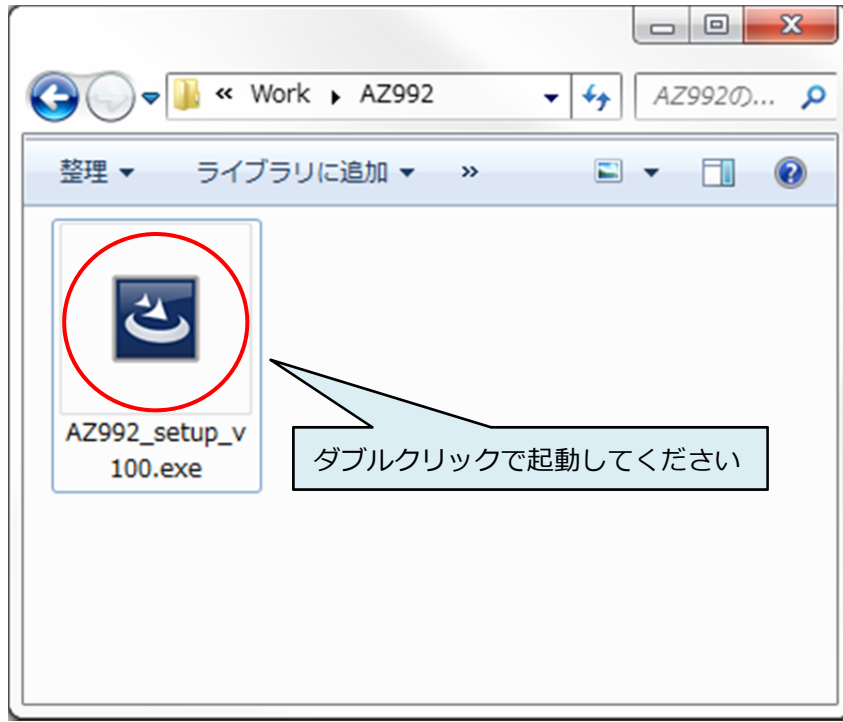
Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools>

に、アイコンが登録されます。

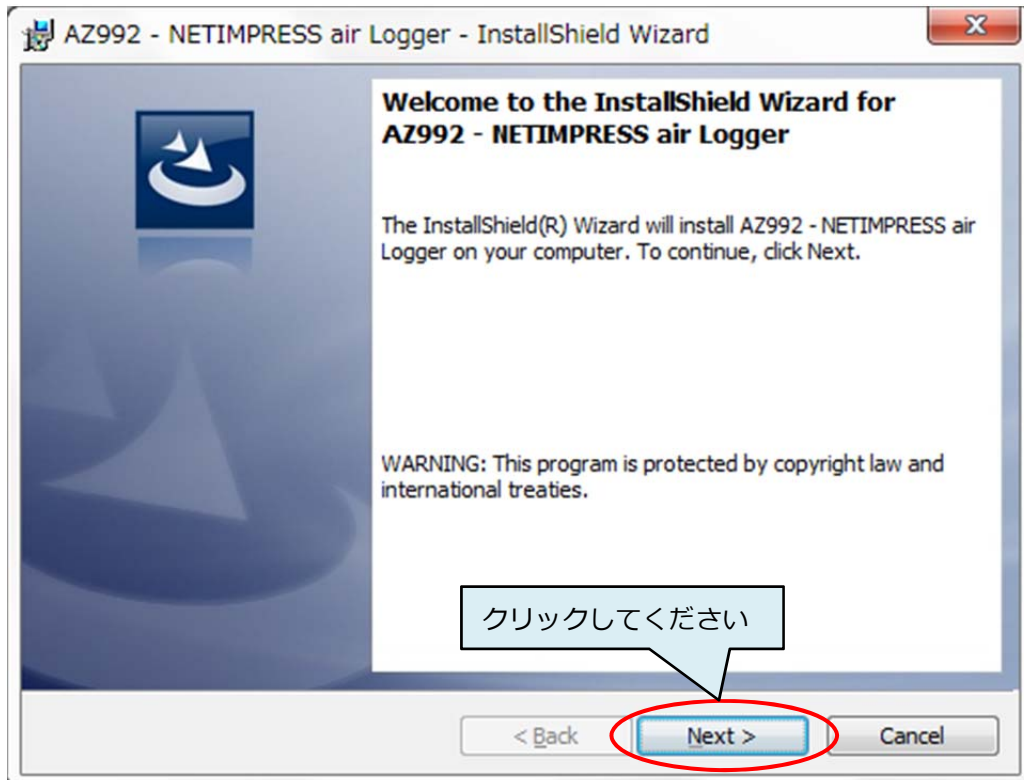
3.1.1. AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストール手順

インストールは管理者でログインした状態で行ってください。

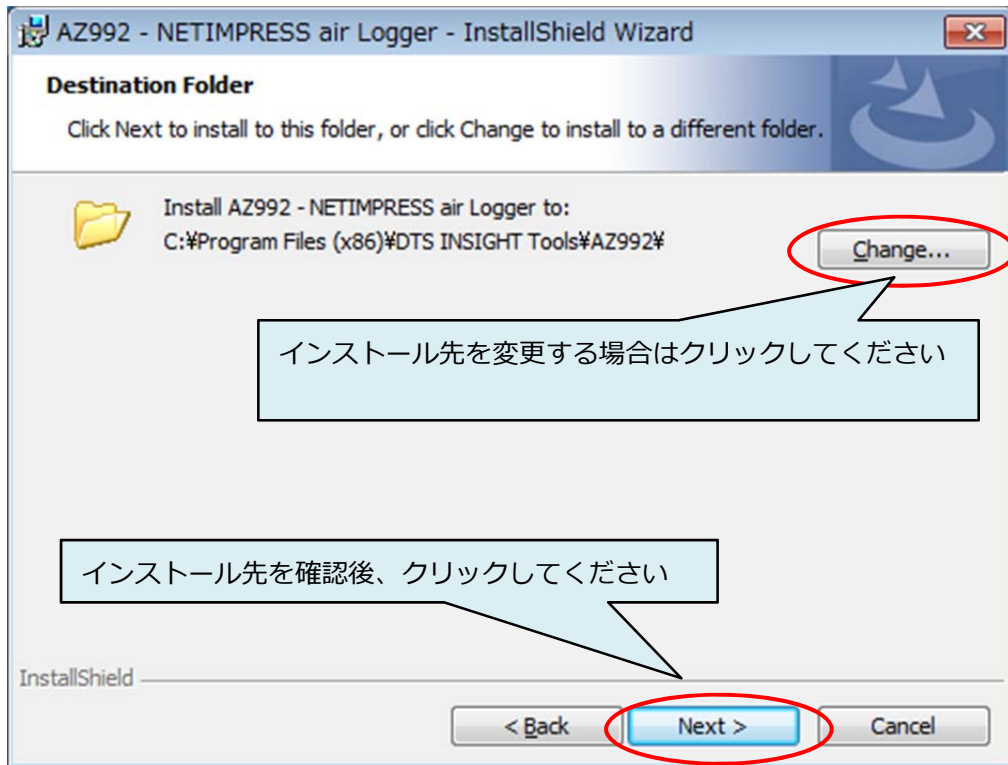
(1) AZ992_setup_vXXX.exe(XXX の部分はバージョン番号が入ります)を起動して下さい。



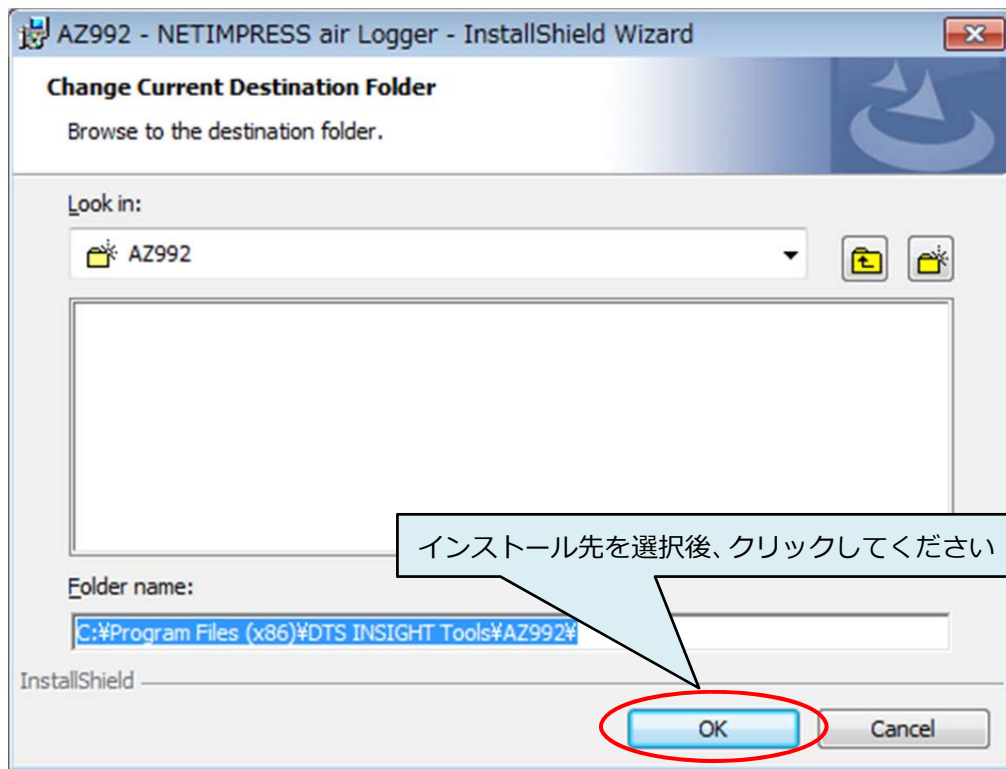
(2) setup.exe が起動すると下記画面が表示されますので“Next”をクリックしてください。



- (3) インストール先を確認し、“Next”をクリックしてください。
インストール先を変更する場合は“Change”をクリックしてください。

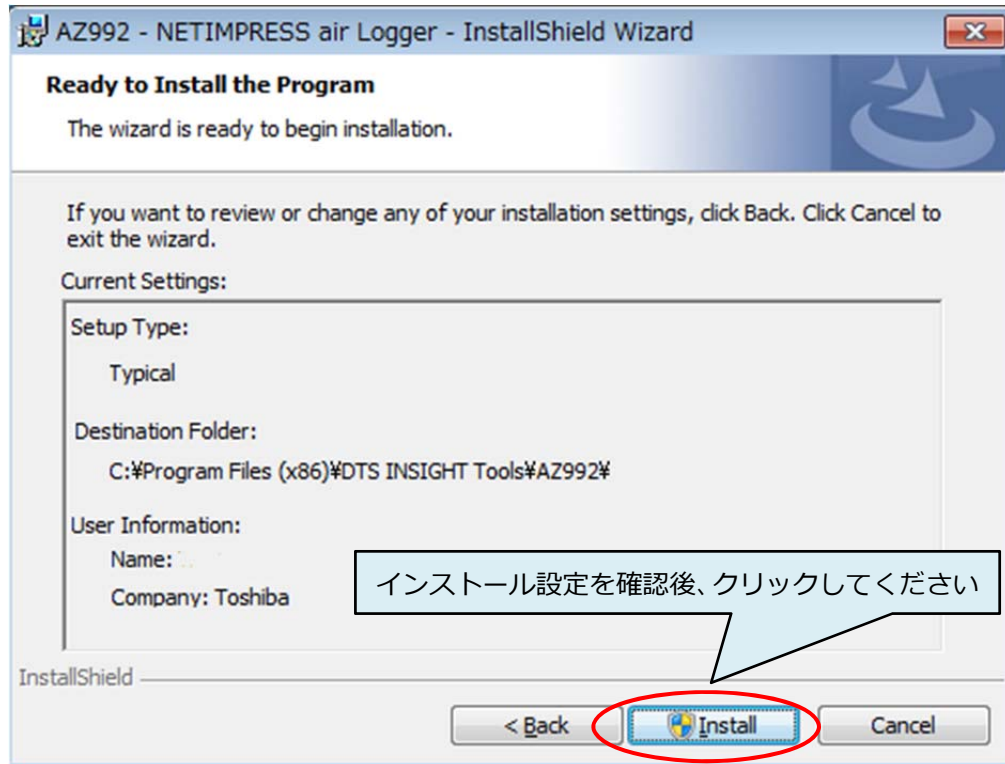


(4) インストール先を選択後“OK”をクリックしてください。(インストール先を変更する場合)

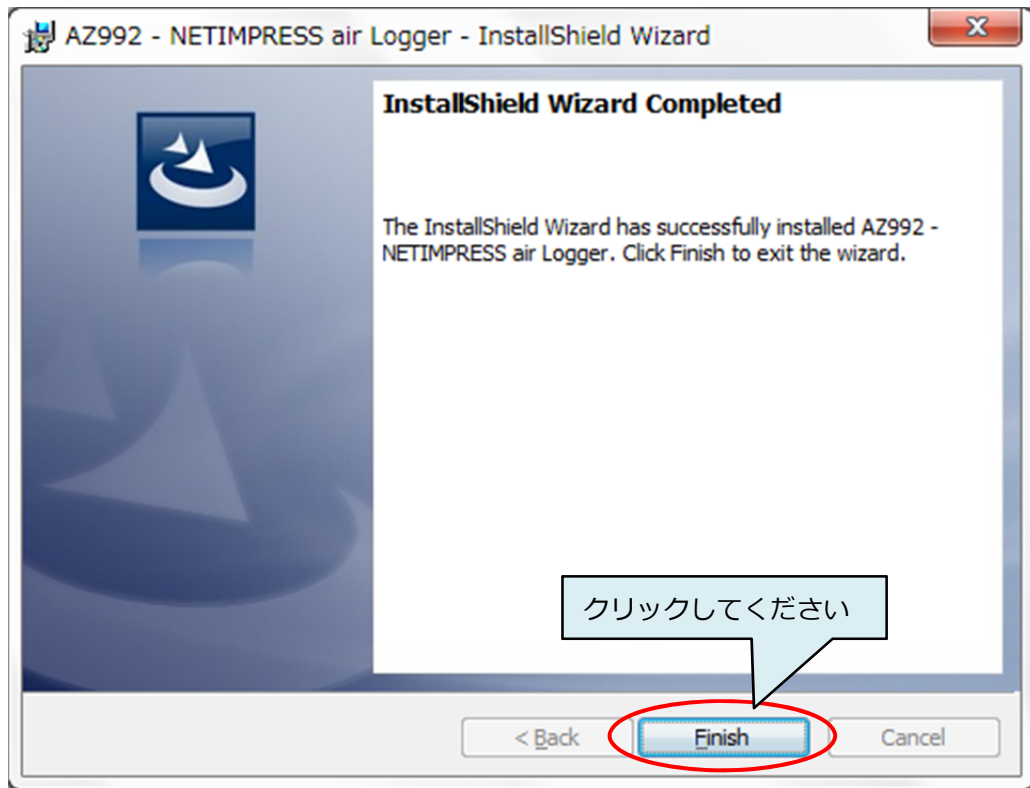


(5) インストール設定を確認し、“Install”をクリックしてください。

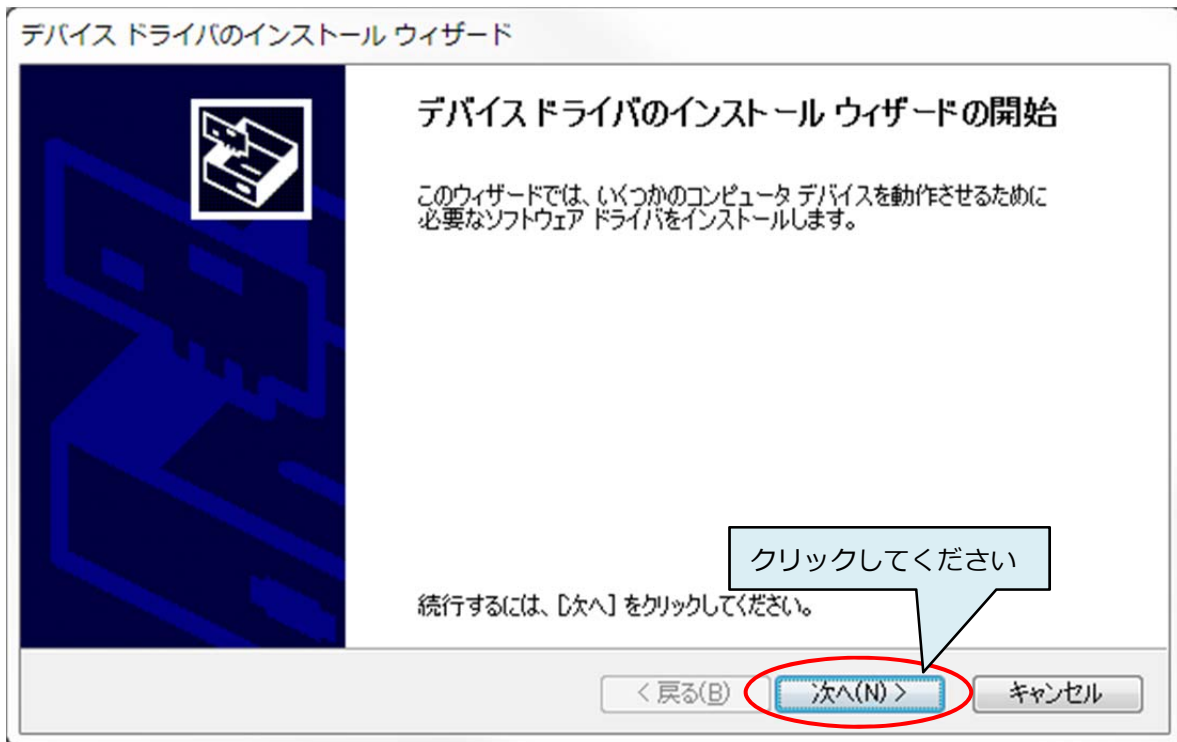
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



- (6) 以下の画面が表示されれば、AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストールは完了です。
“Finish”をクリックすると、引き続き USB ドライバのインストールが開始されます。
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



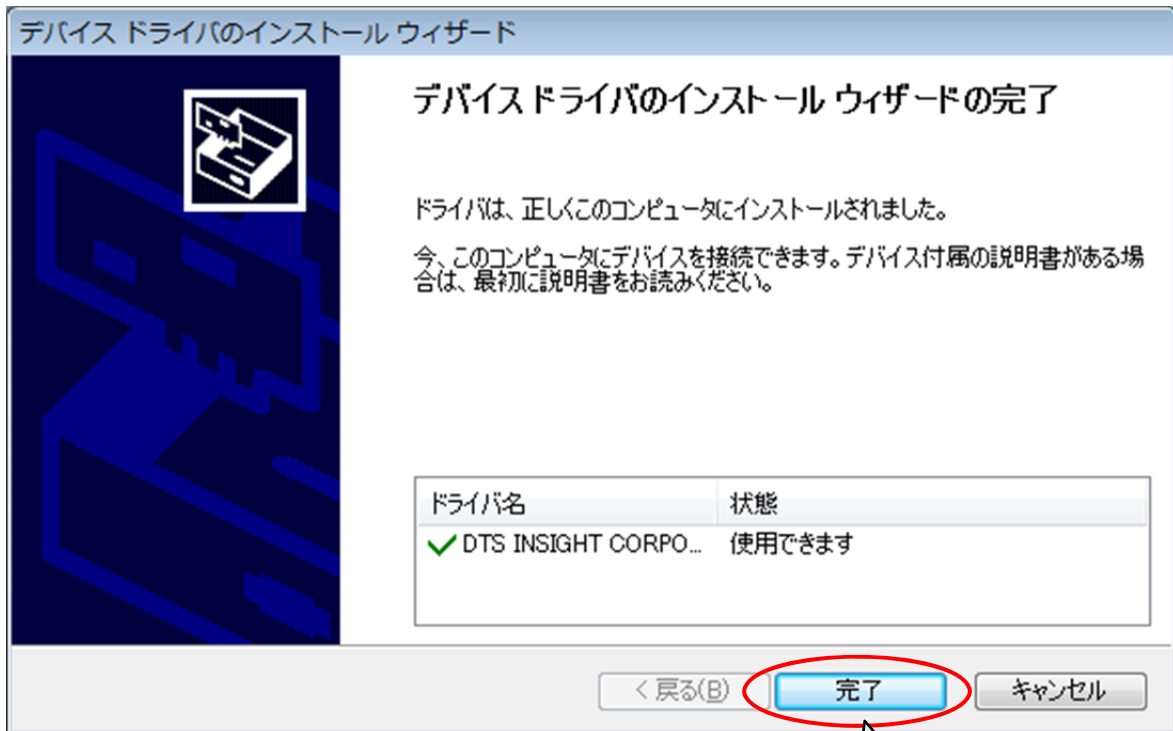
(7) “次へ”をクリックしてください。



(8) “インストール”をクリックしてください。



- (9) 以下の画面が表示されれば、USB ドライバのインストールは完了です。
“完了”をクリックしてください。



3.2. USB 接続設定

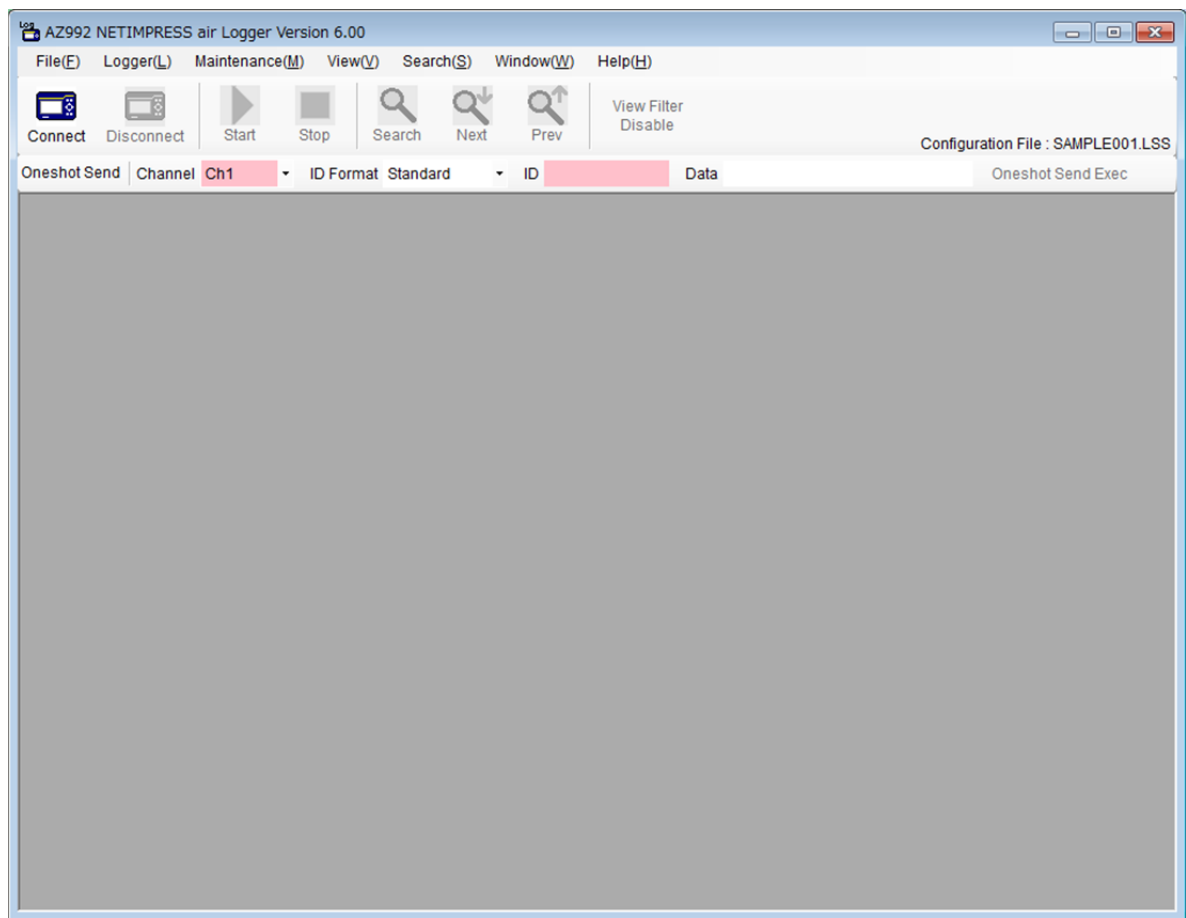
3.2.1. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定)

本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)から制御する環境を設定します。

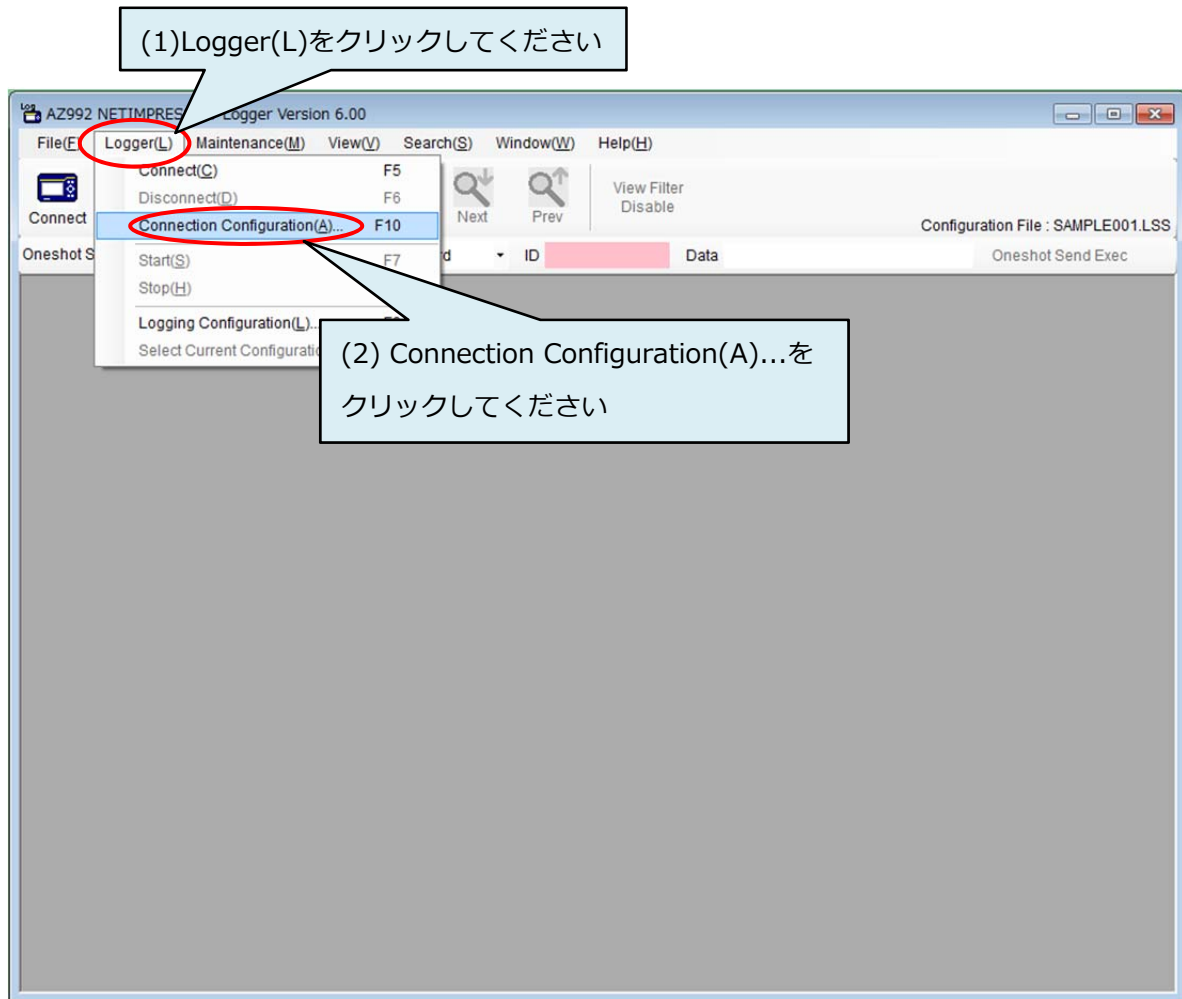
- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機とホスト PC を USB で接続してください。
- (3) ホスト PC で、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <AZ992>

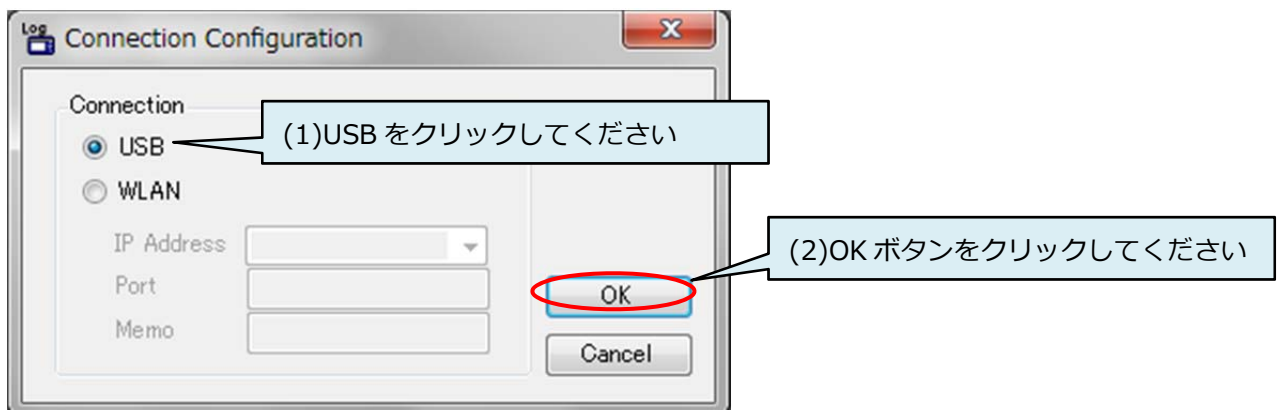
<起動画面>



(4) Logger(L)メニューを選択し、“Connection Configuration(A)”をクリックしてください。



(5) Connection Configuration 画面で“USB”をクリックし、OK ボタンを押してください。




3.3. Wireless LAN 環境設定

 USB 接続のみご使用の際は、3.3 章の設定は不要です。


3.3.1. Wireless LAN 接続設定

Wireless LAN は、アクセスポイント(AP)を経由した接続（インフラストラクチャ）と、パソコンと直接接続を行う（アドホック）があります。

(1) NETIMPRESS air に専用 SD カードを差し、PC と USB ケーブルで接続してください。

 USB ケーブルを接続する前に、事前にスタートアップマニュアル（プログラマ編） 3.1.1 章の記載に従って AZ990(air Connect)のインストールを行って下さい。

 NETIMPRESS air の電源は USB 経由で供給されますが、Wireless LAN 環境で使用する場合はターゲットプローブ経由でターゲットからの 12V の電源供給が必要になります。

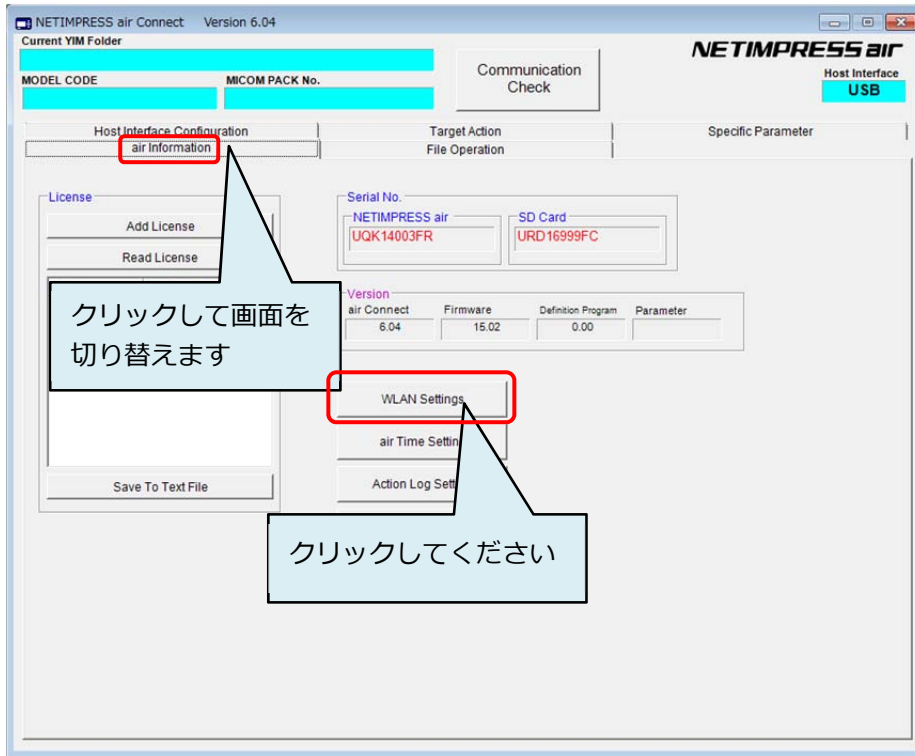
 NETIMPRESS air の LCD が「sd card not detected」という表示になる場合は、一度 NETIMPRESS air の USB ケーブルを外してから、専用 SD カードが正しく差し込まれていることを確認してください。専用 SD カードが挿しこまれていない場合、NETIMPRESS air の設定はできません。

(2) air Connect を起動します。

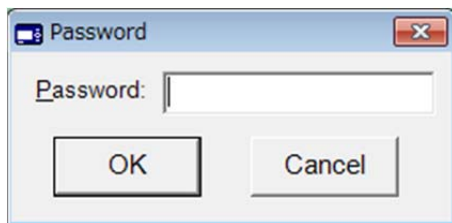
- ・「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「DTS INSIGHT Tools」→「NETIMPRESS air Connect」

(3) Wireless LAN 設定画面を開きます。

- ・「air information」画面の[WLAN Settings] ボタンを押します。



- ・パスワードの入力を求められますので、パスワードを入力して[OK]ボタンを押します。



パスワードの初期値は、"AF200" になります。パスワードは以後の WLAN Settings 画面内の [Change Password] ボタンで変更できます。

- ・ WLAN Settings 画面上で、Wireless LAN の設定を変更し、[Set WLAN Settings]ボタンを押します。

<既存のアクセスポイントに接続の場合>

BSS Type	“BSS-STA(infrastructure mode)” を選択します。
Channel	アクセスポイント(AP)側の設定に合わせて下さい。
Encryption Mode	アクセスポイント(AP)側の設定に合わせて下さい。
SSID	アクセスポイント(AP)側の設定に合わせて下さい。
WEP Key	アクセスポイント(AP)側の設定に合わせて下さい。
WPA / WPA2 PSK	アクセスポイント(AP)側の設定に合わせて下さい。
IP Address	パソコンの重複しない値に設定して下さい。
Subnet Mask	パソコン側の設定に合わせて下さい。
Gateway	パソコン側の設定に合わせて下さい。
Port	通常は 1000 に設定して下さい。

設定例：

“Set WLAN Settings”を押すと、既存のアクセスポイントに接続されます。

<パソコンと1対1で接続（アドホックモード）の場合>

BSS Type	“IBSS-STA(ad hoc mode)” を選択します。
Channel	周辺の AP で使用されていない値を設定します。
Encryption Mode	暗号化方式を設定します。（任意） NONE, WEP-64, WEP-128 のいずれかを設定します。
SSID	任意の SSID を設定します。 周辺にある AP と同じ名前には設定しないで下さい。
WEP Key	暗号化方式で WEP-64/WEP-128 を指定した場合の暗号化キーを入力します。WEP64 選択時は 5 文字の英数字、WEP128 選択時は 13 文字の英数字を指定します。
WPA / WPA2 PSK	入力しません。
IP Address	通常はパソコンと上位 24 ビットを同じ値にします。 例 : air 192.168.0.1 PC 192.168.0.2
Subnet Mask	通常は、255.255.255.0 に設定します。
Gateway	通常は、0.0.0.0 に設定します。
Port	通常は、1000 に設定します。

設定例 :

The screenshot shows a 'WLAN Settings' dialog box with the following values:

- BSS Type: IBSS-STA(ad hoc mode)
- Channel: 07
- Encryption Mode: WEP-64
- SSID: NETIMPRESS AIR-01
- WEP Key: ABCDE
- WPA / WPA2 PSK: wlanetest
- IP Address: 192.168.0.1
- Subnet Mask: 255.255.255.0
- Gateway: 0.0.0.0
- Port: 1000

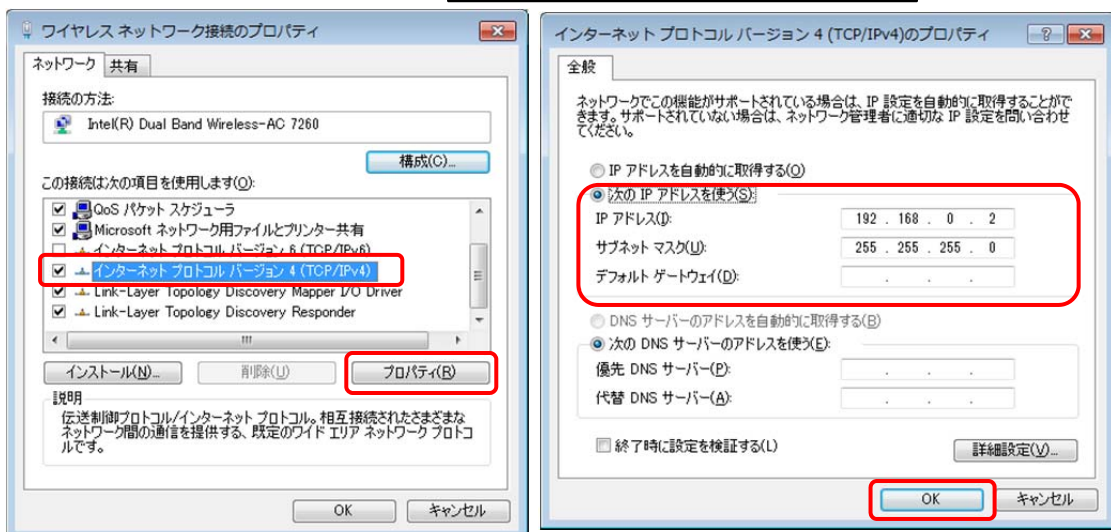
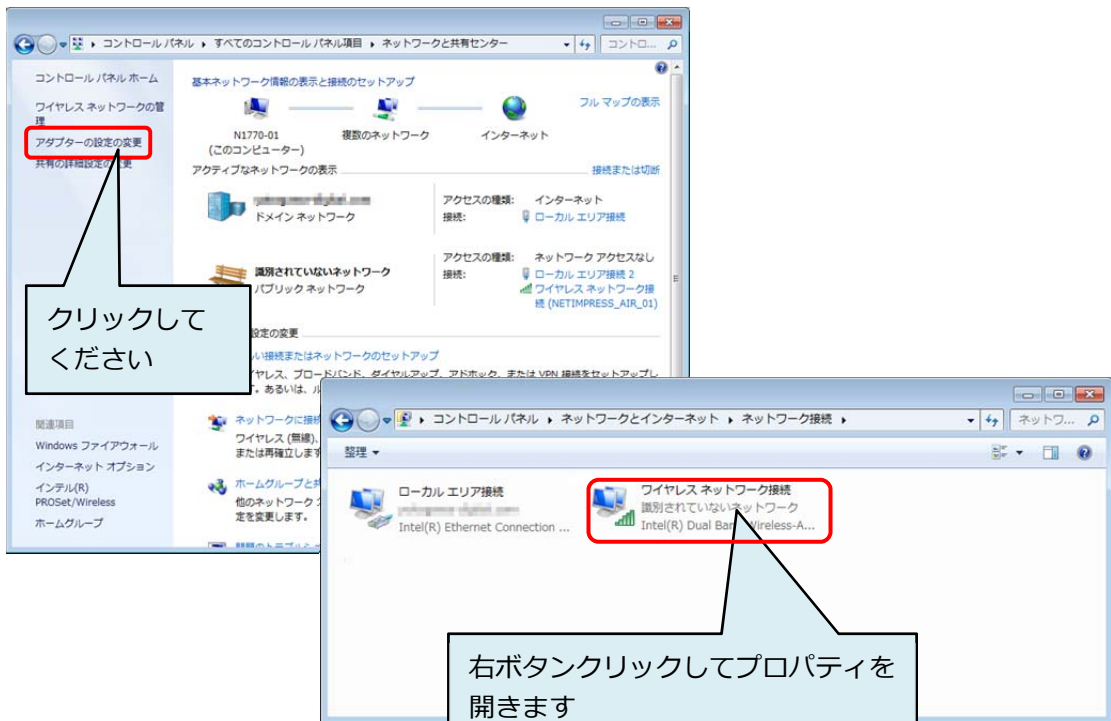
Buttons at the bottom include 'Set WLAN Settings', 'Cancel', 'Change Password', and 'Save To ini File'.

“Set WLAN Settings”を押すと、PC からのアドホック接続待ちの状態となります。

- ❗ アドホックモード使用時に使用できる Encryption Mode は、NONE, WEP-64, WEP-128 のみとなります。
- ❗ ホストPCや同じネットワークに接続されている他の機器のIPアドレスと重複しないようご注意ください。
- ❗ NETIMPRESS air は DHCP をサポートしていません。アドホックモードをご利用の場合は、PC 側の IP アドレスは必ず固定アドレスで設定する必要があります。
例えば、NETIMPRESS air の IP アドレスを 192.168.0.1 と設定した場合、PC 側の IP アドレスは 192.168.0.2 などと設定します。

<PC 側の IP アドレス設定>

・「コントロールパネル」→「ネットワークと共有センター」を開き、「アダプターの設定の変更」をクリックします。



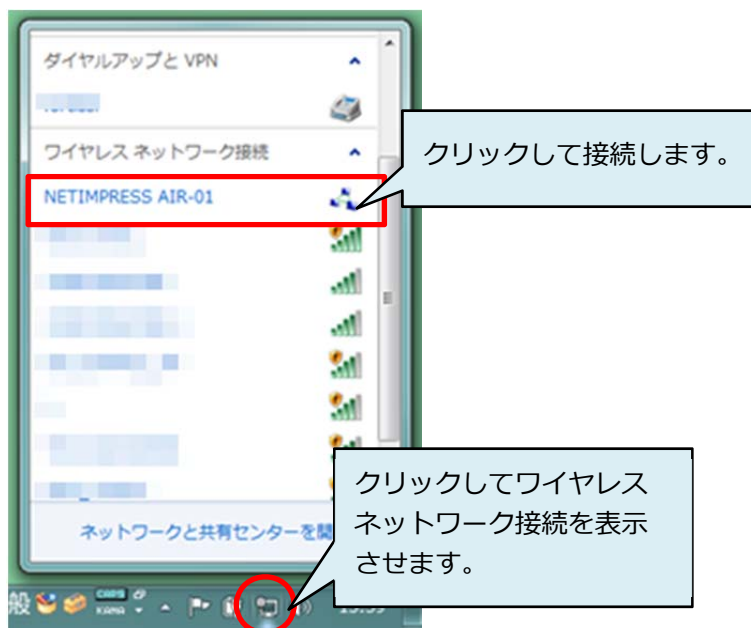
(4) PC 側で Wireless LAN に接続します。

<既存のアクセスポイントに接続の場合>

既存のアクセスポイントに接続して下さい。（既に接続済みであれば、特に設定は不要です。）

<パソコンと1対1で接続（アドホックモード）の場合>

(3)の手順で登録した SSID を選択して接続します。



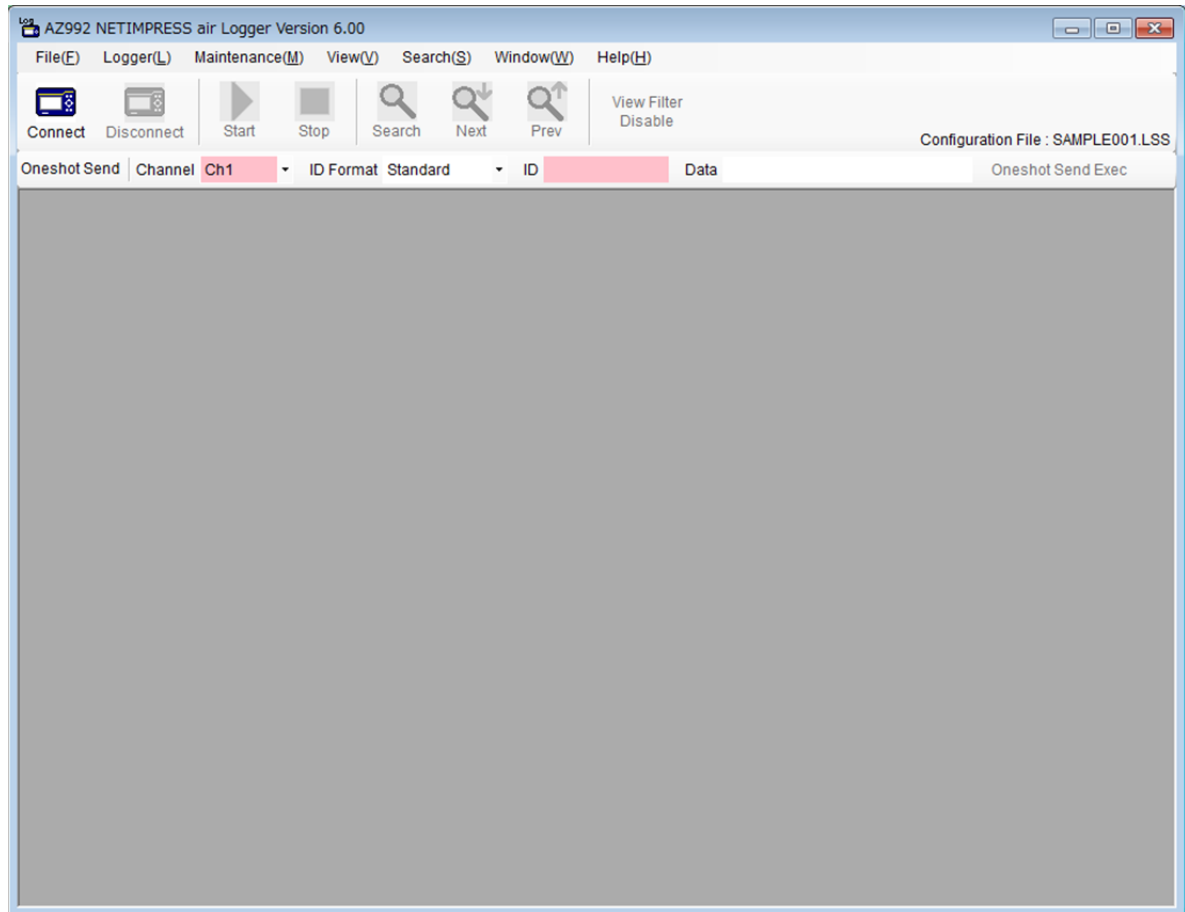
3.3.2. PC との接続 (AZ992:NETIMPRESS air Logger 設定)

本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)から制御する環境を設定します。

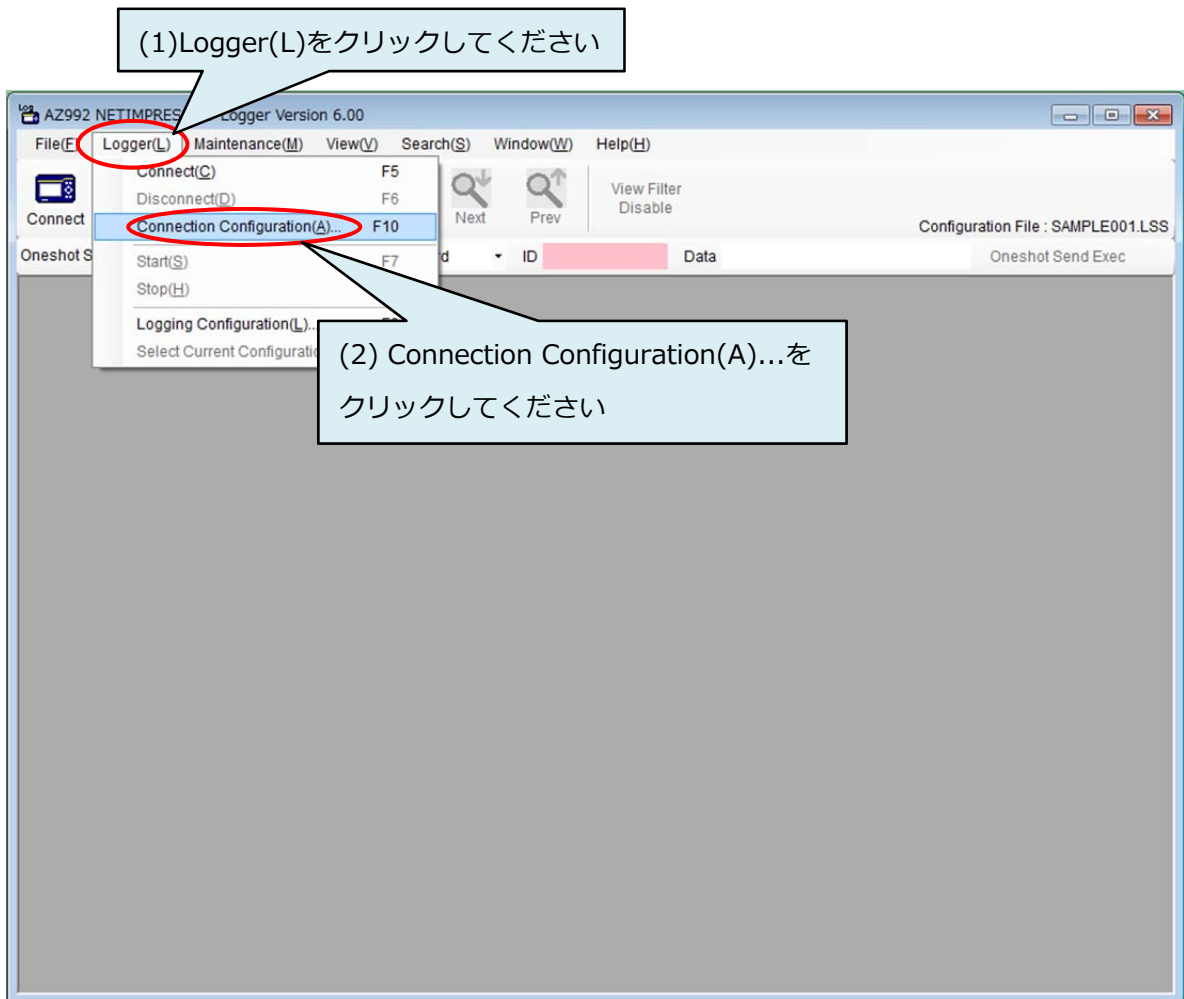
- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機の電源を投入します。
- (3) ホスト PC で、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <AZ992>

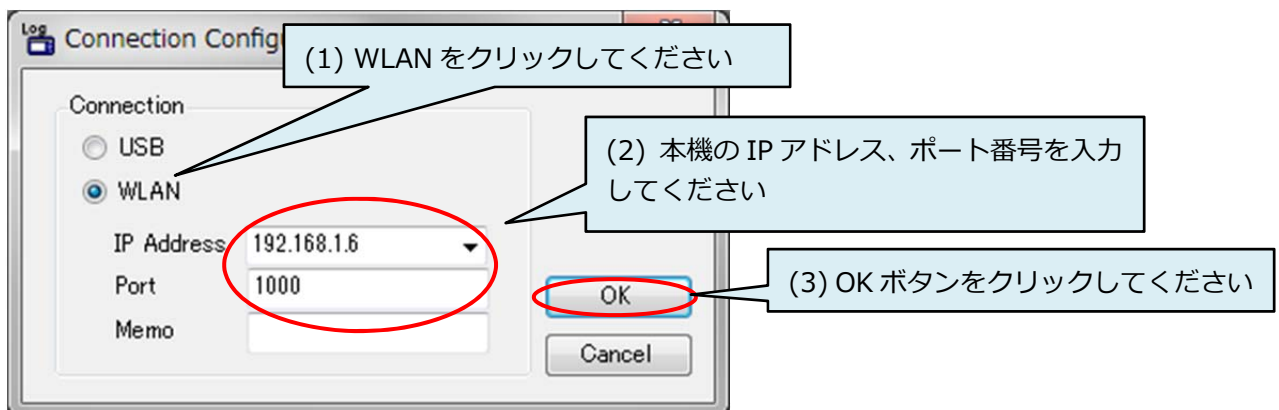
<起動画面>



(4) Logger(L)メニューを選択し、“Connection Configuration(A)”をクリックしてください。



(5) Connection Configuration 画面で“WLAN”をクリックし、“OK”ボタンを押してください。



4. ロギング環境のセットアップ

この章では、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を使用し、モニタモードでロギングを実行するための環境をセットアップします。

4.1. ロガーライセンスの追加

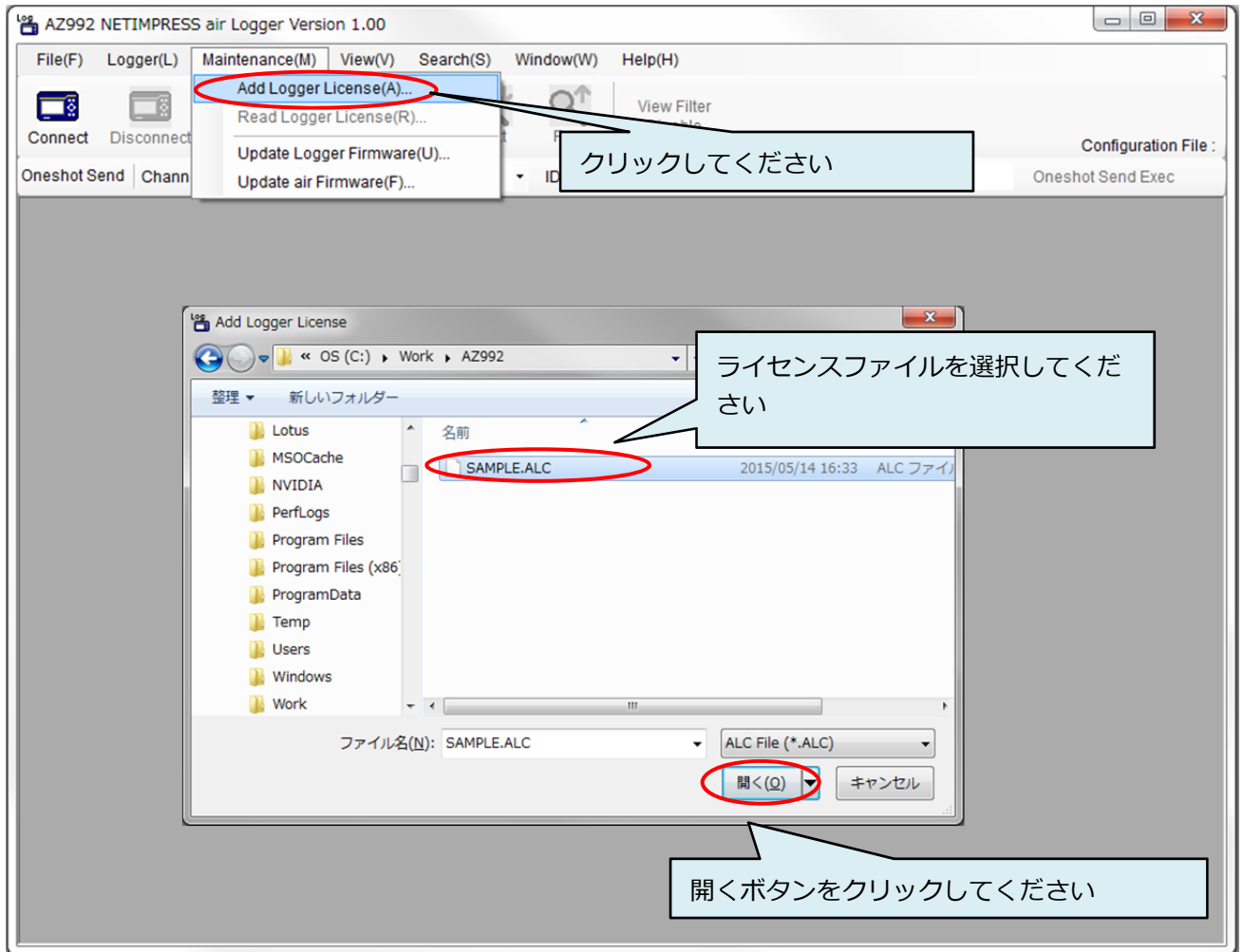
ロギングを実行するためには、本機にロガーライセンスを追加する必要があります。

ロガーライセンスの追加に必要なライセンスファイル(拡張子.ALC)は、ライセンスご購入時に納入されるライセンスシートを使用して、弊社からホームページより取得します。

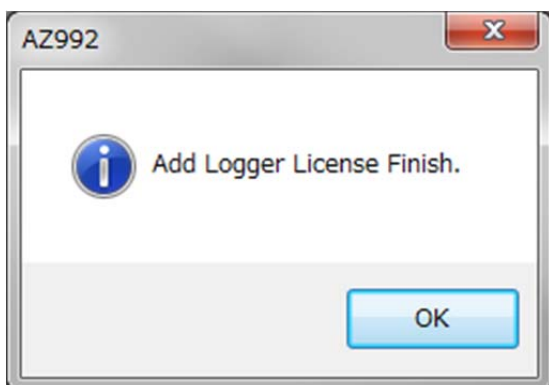
ロガーライセンスファイル	<ul style="list-style-type: none">● 拡張子は.ALC です。● 弊社ホームページより取得します。
--------------	---

4.1.1. 本機へのロガーライセンス追加手順

- (1) 取得したロガーライセンスファイル(.ALC)を、ホスト PC のローカルフォルダにコピーします。
- (2) AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。
- (3) “Maintenance(M)”メニューの“Add Logger License(A)”をクリックします。
- (4) ファイルオープンダイアログが表示されますので、(1)でコピーしたロガーライセンスファイルを選択し、“開く”ボタンをクリックします。



(5) ロガーライセンス追加に成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。





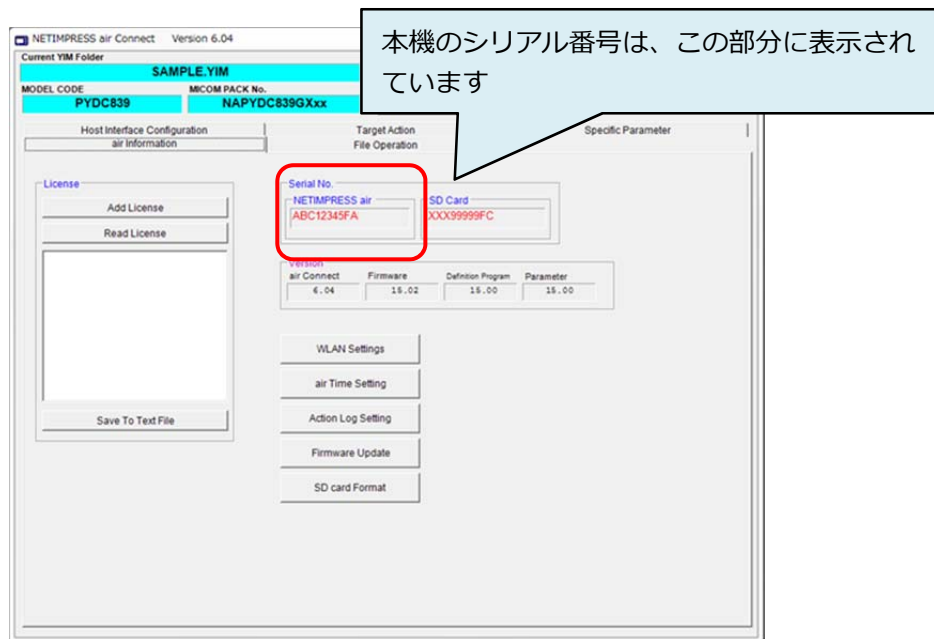
ライセンスファイルは、適用先 air 本体のシリアル番号が固定されています。
ライセンスファイルの対象シリアル番号と本機のシリアル番号が一致していない場合には、ロガーライセンスを追加することができません。

本機のシリアル番号は、本機の裏面に印字されています。

また、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を使用して確認することもできます。

(1) AZ990 を起動し、本機と接続します。

(2) “air Information”タブの“Serial No.”内にある“NETIMPRESS air”に、本機のシリアル番号が表示されます。



4.2. ロガーファームの書き込み

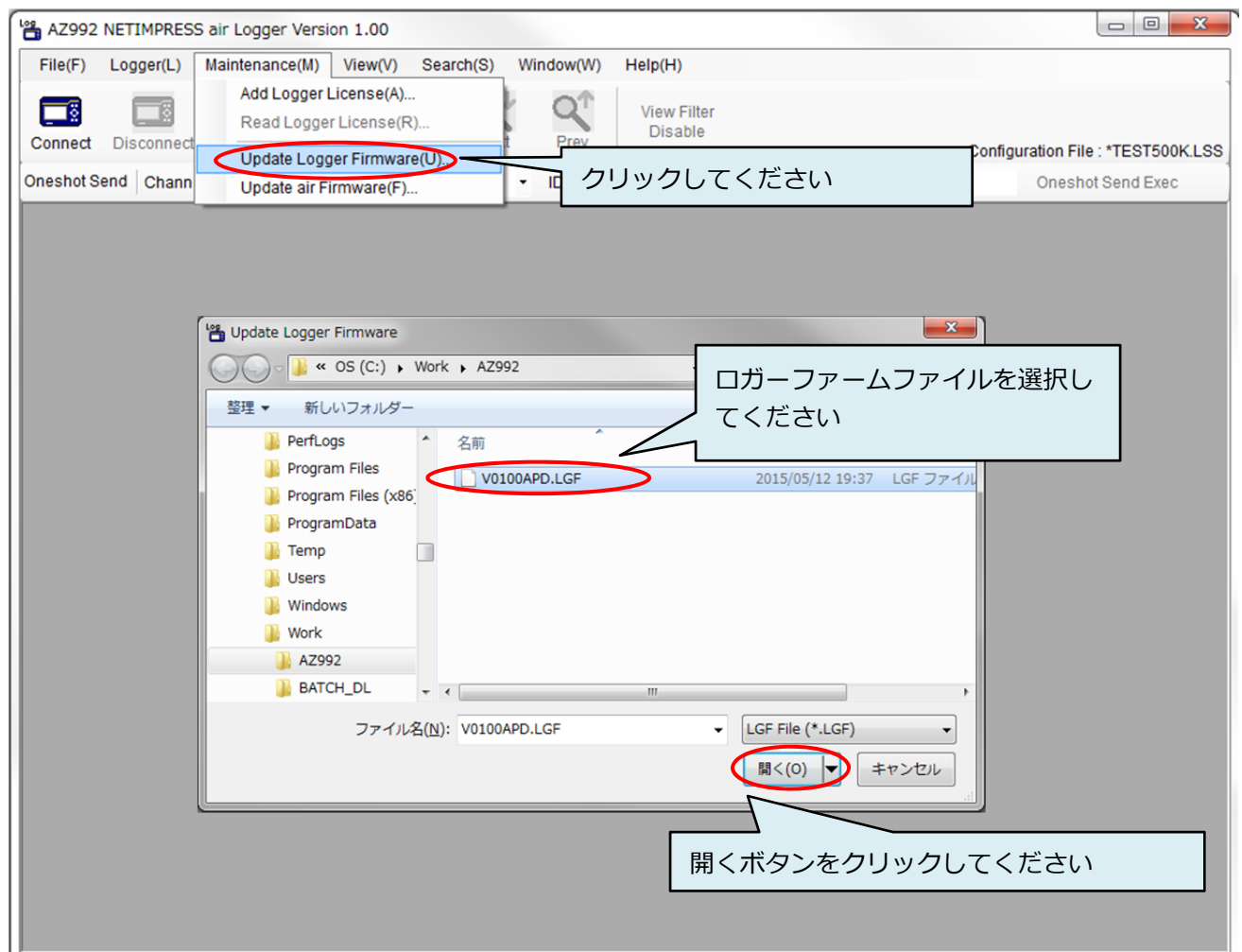
本機でロギングを実行する場合、本機にロガーファームが書き込まれている必要があります。

本機の出荷状態では、ロガーファームは書き込まれていないため、本機で初めてロギングを実行する前にロガーファームを書き込む必要があります。

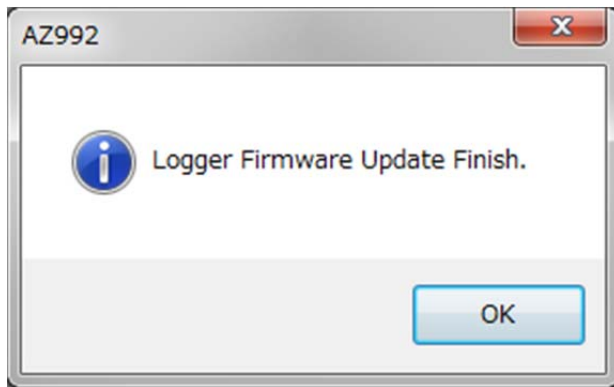
ロガーファームファイル ● 拡張子は.LGF です。

4.2.1. 本機へのロガーファーム書き込み

- (1) 取得したロガーファームファイル(.LGF)を、ホスト PC のローカルフォルダにコピーします。
- (2) “Maintenance(M)”メニューの“Update Logger Firmware(U)”をクリックします。
- (3) ファイルオープンダイアログが表示されますので、(1)でコピーしたロガーファームファイルを選択し、“開く”ボタンをクリックします。



(5) ロガーファームの書き込みに成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。

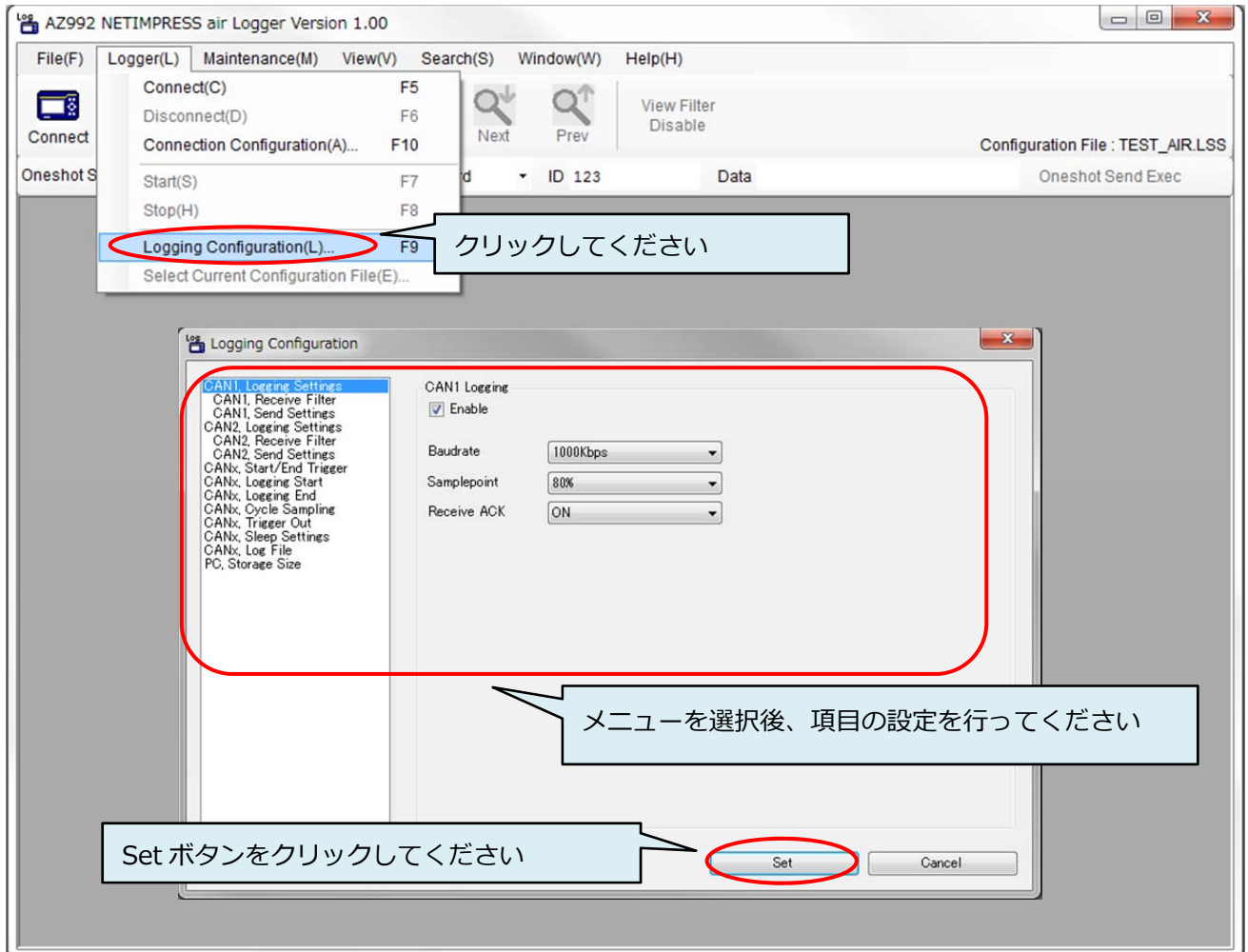


- !** ロガーファームの書き込みには数十秒の時間がかかり、その間本機および AZ992 は操作できません。
ロガーファームの書き込み中に本機の電源を切ったり、本機の実行を行ったりしないでください。
本機の故障の原因となります。

4.3. ロギング設定

モニタモードでロギングを行う際のロギング条件を設定します。

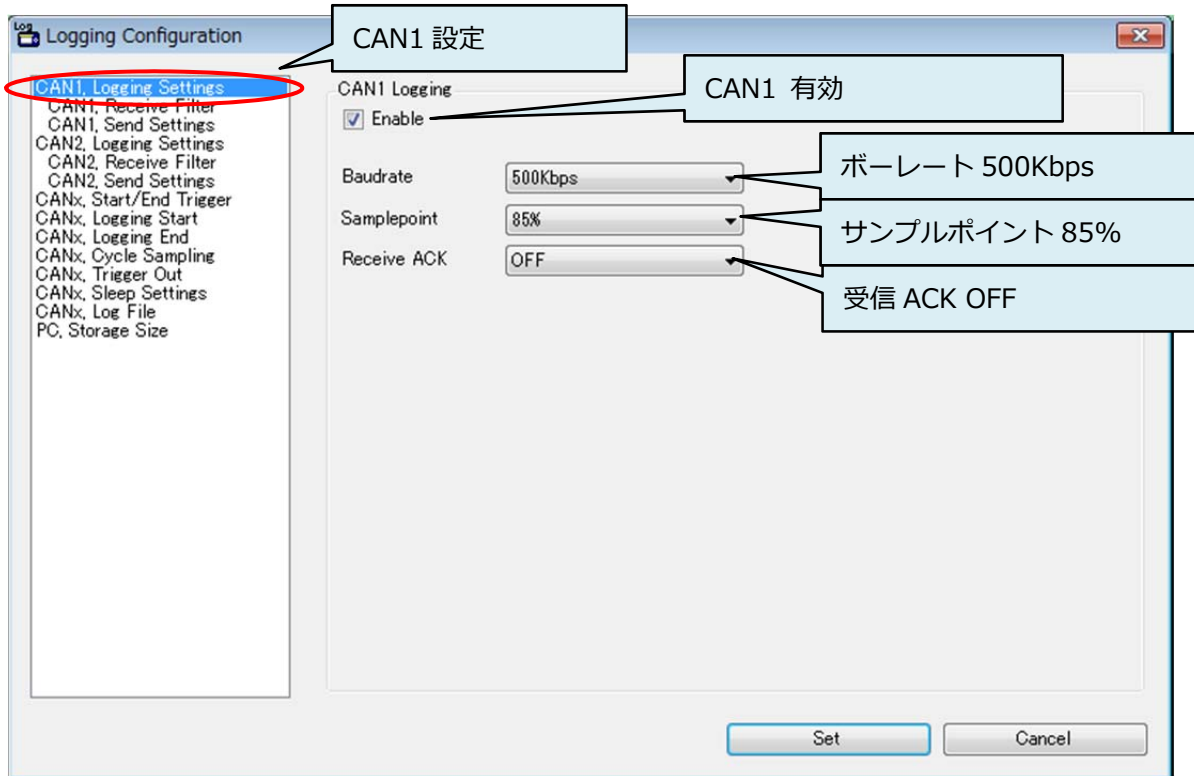
- (1) “Logger(L)”メニューの“Logging Configuration(L)”をクリックします。
- (2) Logging Configuration 画面が表示されますので、ロギング条件を設定後、“Set”ボタンをクリックします。



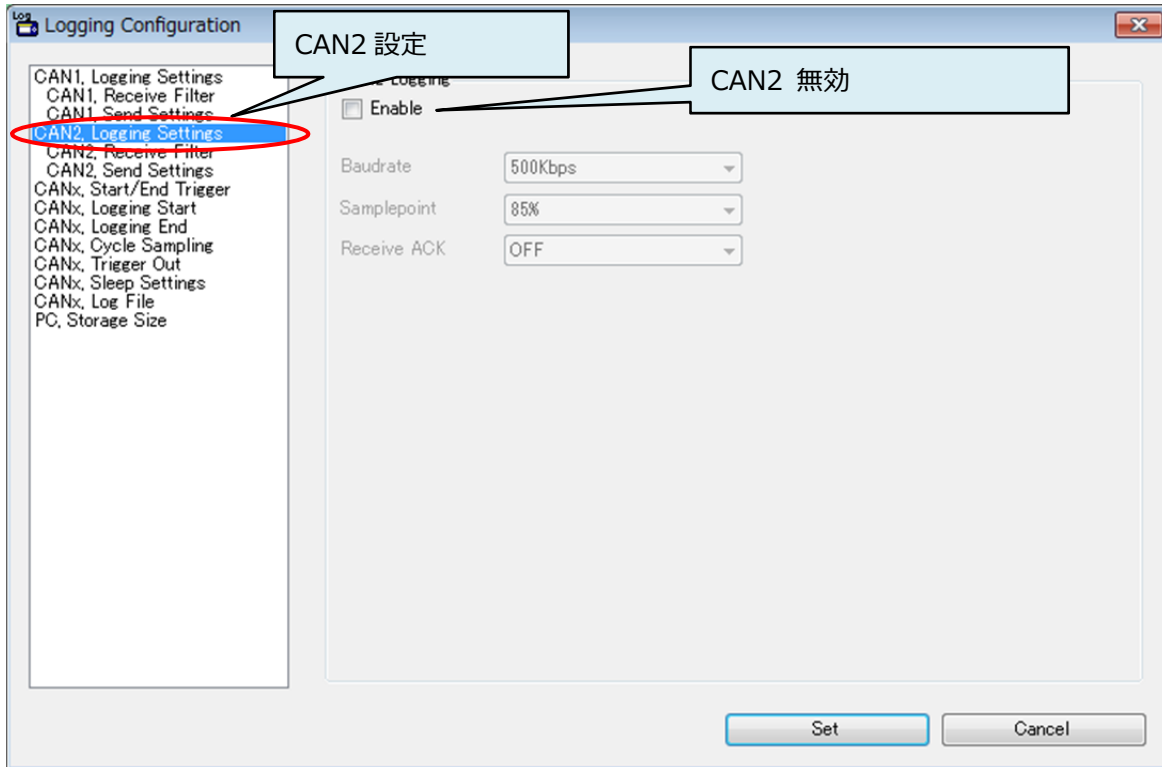
設定例として、次の条件を設定します。

設定項目	設定値
CAN1	有効 ボーレート : 500Kbps サンプルポイント : 85% メッセージ受信時の ACK : なし
CAN2	無効
バスのモニタ開始条件	なし(無条件でモニタ開始)
CAN メッセージのロギング開始条件	Start ボタン
CAN メッセージのロギング終了条件	Stop キー入力

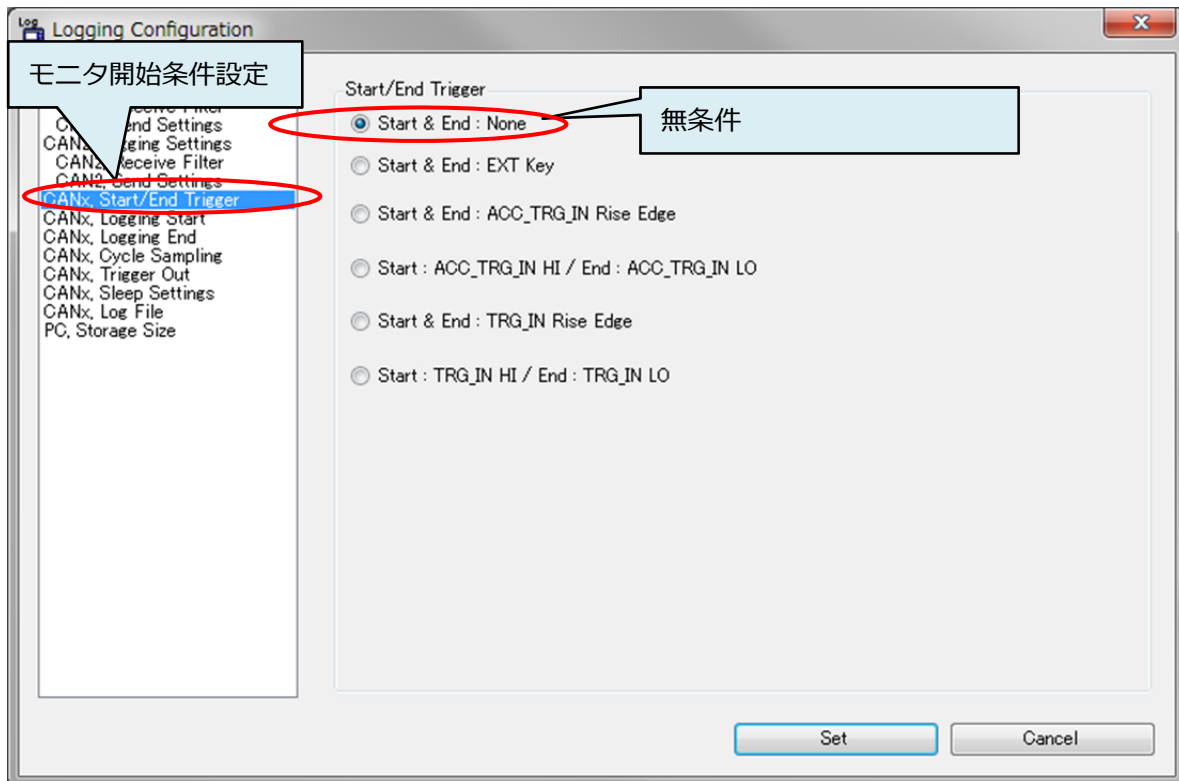
CAN1 の設定はメニューの CAN1, Logging Settings で行います。



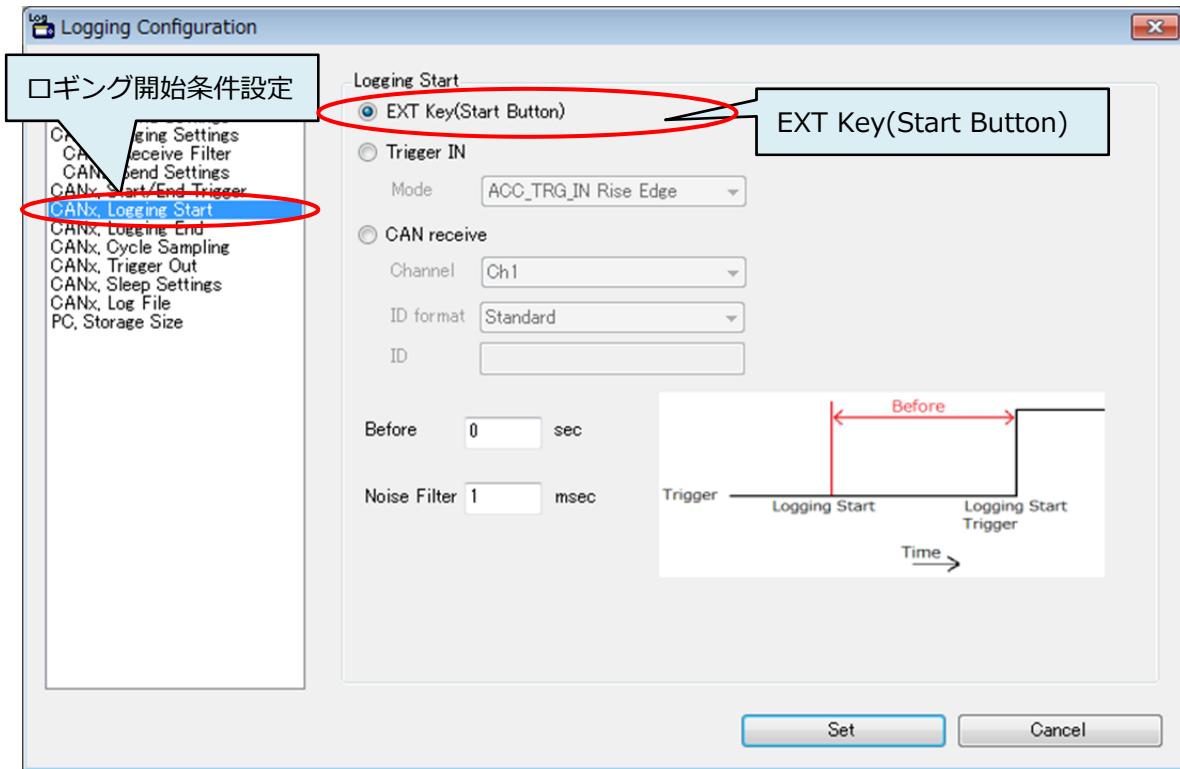
CAN2 の設定はメニューの CAN2, Logging Settings で行います。



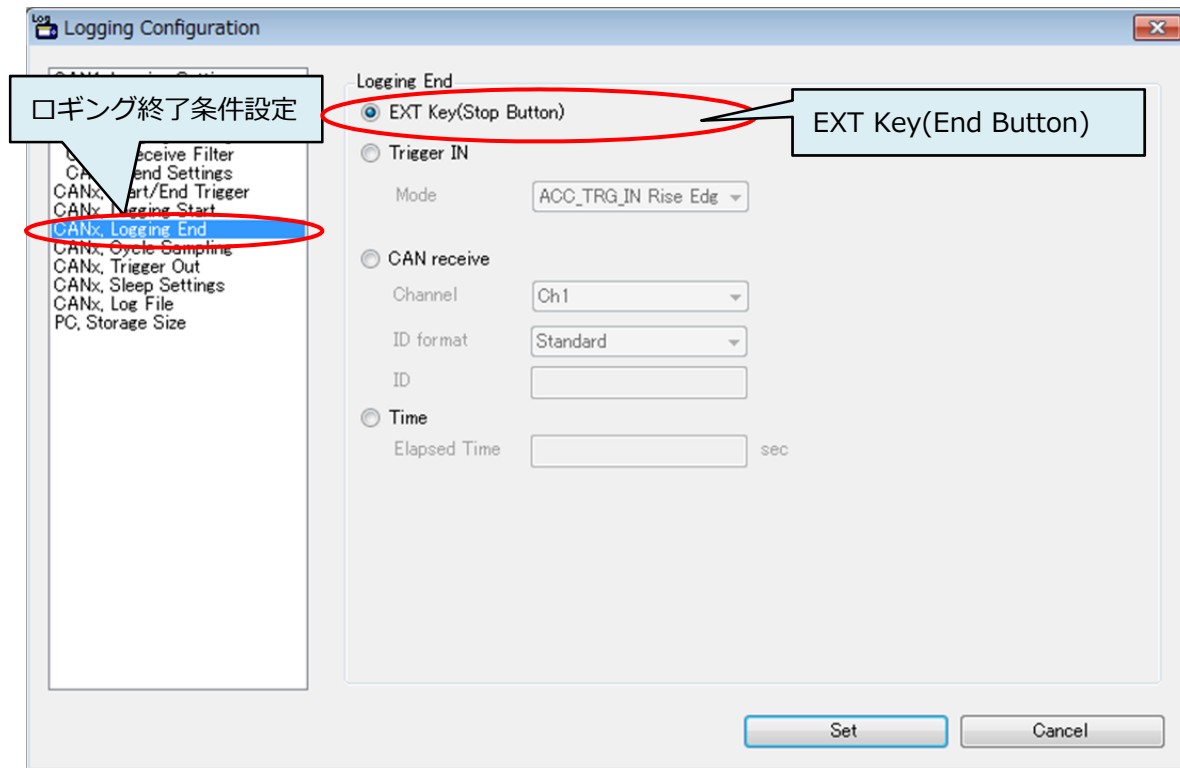
バスのモニタ開始条件設定は、CANx, Start/End Trigger で行います。



CAN メッセージのロギング開始条件設定は、CANx, Logging Start で行います。



CAN メッセージのロギング終了条件設定は、CANx, Logging End で行います。



設定終了後、“Set”ボタンをクリックして設定を反映します。

4.4. ターゲットシステムとの接続

本章では、本機とターゲットシステムの代表的な接続例を示します。

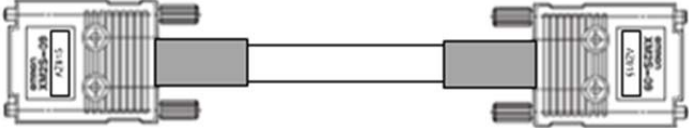
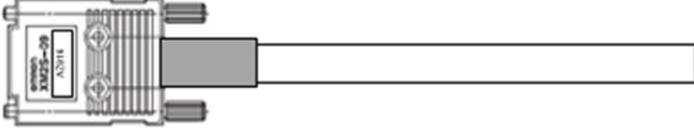
各種ターゲットプローブの仕様は、「NETIMPRESS air ハードウェアマニュアル」の5章をご参照下さい。マニュアルは下記の弊社ホームページ URL からダウンロードいただけます。

https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1

ターゲットプローブを使用して接続する場合

(1) プローブの種類

お客様のターゲットボードに適したターゲットプローブを使用して、本機と接続してください。

AZ915	ターゲット側：D-SUB 9pin 
AZ916	ターゲット側：未処理（コネクタなし。ターゲット側の仕様に合わせてコネクタを付けるなどの加工をしてご使用下さい。） 

(2) 結線

お客様のターゲットシステムをご確認頂き、ターゲットプローブとターゲットシステムの結線をおこなってください。

(3) 接続

「ターゲットプローブの種類」と「結線」を確認し、本機とターゲットシステムを接続します。



電源の投入/遮断順序にご注意ください。

- 電源投入時・・・本機の電源が ON の状態で、ターゲットシステムの電源を ON。
- 電源遮断時・・・ターゲットシステムの電源を OFF にしたあとに、プログラムの電源を OFF。

5. ロギング実行

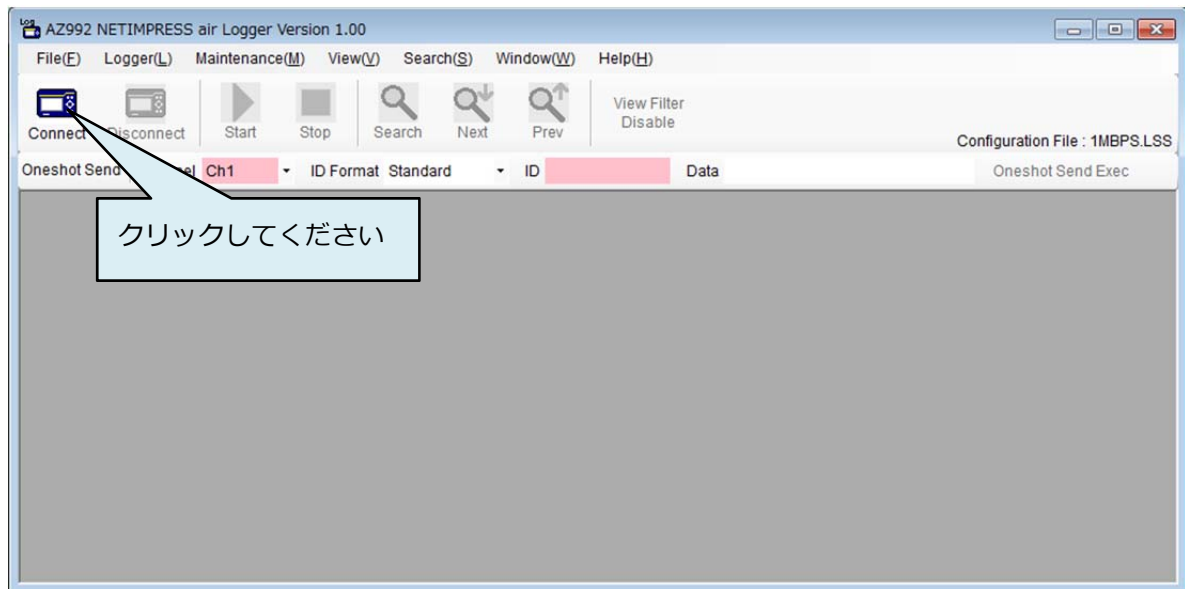
この章では、ターゲットシステムのロギング実行手順について説明します。

(1) 本機とターゲットシステムを接続します。

正しく接続されていることを確認後、本機の電源を投入します。

(2) ホスト PC と本機を Wireless LAN もしくは USB ケーブルで接続してから、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

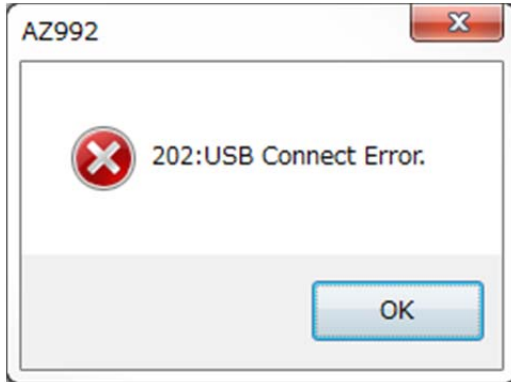
(3) “Logger”メニューの“Connect”もしくは画面上の“Connect”ボタンをクリックし、本機と AZ992 を接続します。AZ992 の設定が完了していれば、本機の接続が完了します。



➡ 接続できない場合には、「3.2 USB 接続設定」、「3.3 Wireless LAN 接続設定」をご参照の上、設定を再度ご確認ください。

- USB 接続時にエラーが発生した場合

! 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。

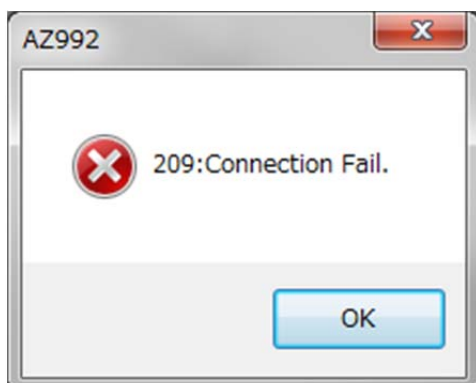


- USB 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

USB が接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト PC、および、本機のコネクタに USB ケーブルが間違いなく接続されている事を確認してください。 USB ハブを使用している場合は、ハブがホスト PC と接続されていることも確認してください。
ドライバが正常にインストールされていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト PC に本機の USB ドライバが正常にインストールされているか確認してください。 ホスト PC と本機を USB ケーブルで接続後、ホスト PC で[コントロールパネル]-[システム]-[デバイス マネージャー]を開き、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー] 内に、“ProgrammerUSB”という項目が存在することを確認してください。

- Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合

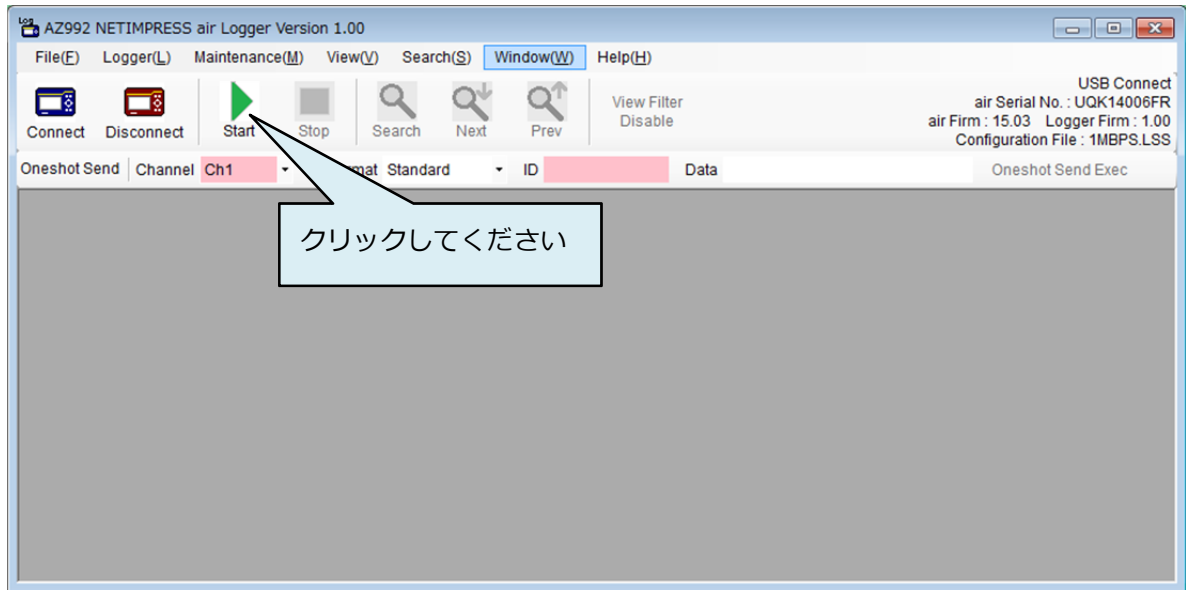
! 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。




● Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

<p>IP アドレスは正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に設定した IP アドレスが正しく入力されている事を確認してください。 <li style="padding-left: 20px;">➡ 本マニュアル「3.2.1 NETIMPRESS air の IP アドレス設定」を参照してください。 ● ホスト PC や同じネットワークに接続している機器に設定されている IP アドレスと重複していないことを確認してください。 ● アドホックモードで使用時にホスト PC が IP アドレスを自動的に取得する設定(DHCP)になっている場合、本機と接続できません。必ず IP アドレスを設定してください。アクセスポイント接続の場合でも、環境により DHCP サーバーが存在しない場合は固定で IP アドレスの設定が必要になります。 ● サブネットマスクの設定に従った正しい IP アドレスをホスト PC 側、および本機に設定して下さい。 サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合、上位 24 ビットはホスト PC と本機で共通の値とする必要があります。
<p>ポート番号は正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に設定したポート番号が正しく入力されている事を確認してください。特に変更を行ってない場合は、デフォルト値の "1000" を入力してください。 <li style="padding-left: 20px;">➡ 本マニュアル「3.3.1 Wireless LAN 接続設定」を参照してください。
<p>サブネットマスクについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のサブネットマスクのデフォルト値は 255.255.255.0 となっています。サブネットマスクは、ホスト PC 側の設定に合わせてください。 <li style="padding-left: 20px;">➡ 変更が必要な場合は、本マニュアル「3.3.1 Wireless LAN 接続設定」を参照してください。

- (4) “Logger”メニューの“Start”もしくは画面上の“Start”ボタンをクリックし、モニタモードでのロギングを開始します。



- (5) ターゲットシステムの電源を投入します。
- (6) ロギングが完了したら、“Logger”メニューの“Stop”もしくは画面上の“Stop”ボタンをクリックし、モニタモードでのロギングを終了します。
- (7) ターゲットシステムの電源を遮断します。
- (8) “Logger”メニューの“Disconnect”もしくは画面上の“Disconnect”ボタンをクリックし、本機から AZ992 を切断します。

-  ターゲットシステムの電源を投入／遮断するタイミングは、上記のとおりでなくてもかまいません。
例えば、モニタモードでのロギング開始前にターゲットシステムの電源を投入しても問題ありません。

6. スタンドアロンで使用する

この章では、スタンドアロン（PC レス）での本機の操作について説明します。

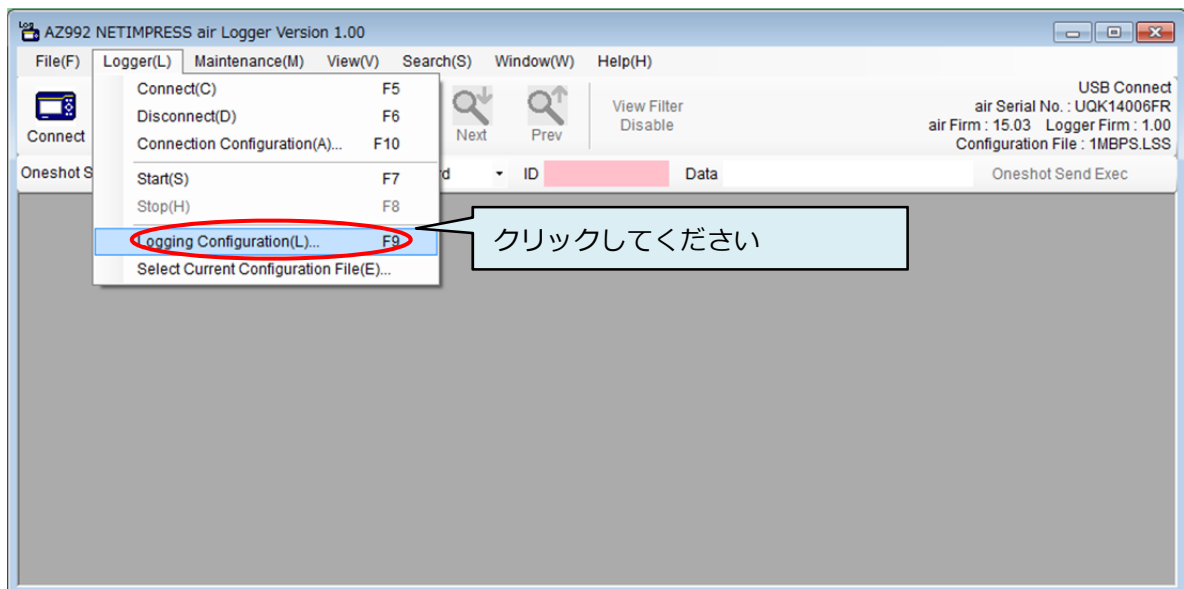
! スタンドアロンで使用する場合、本機に専用 SD カードが挿入されている必要があります。

6.1. ロガー設定ファイルの作成

スタンドアロンでは、専用 SD カードに保存されているロガー設定ファイル読み込んで実行します。スタンドアロンで使用する場合は、あらかじめロガー環境のセットアップを完了しておく必要があります。

ストレージモードでロギングを行う際のロギング条件を設定します。

- (1) 本機の電源を投入します。
- (2) ホスト PC と本機を Wireless LAN もしくは USB ケーブルで接続してから、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。
- (3) “Logger”メニューの“Connect”もしくは画面上の“Connect”ボタンをクリックし、本機と AZ992 を接続します。AZ992 の設定が完了していれば、本機の接続が完了します。
- (4) “Logger(L)”メニューの“Logging Configuration(L)”をクリックします。



(5) Logging Configuration 画面が表示されますので、ロギング条件を設定後、“Set”ボタンをクリックします。

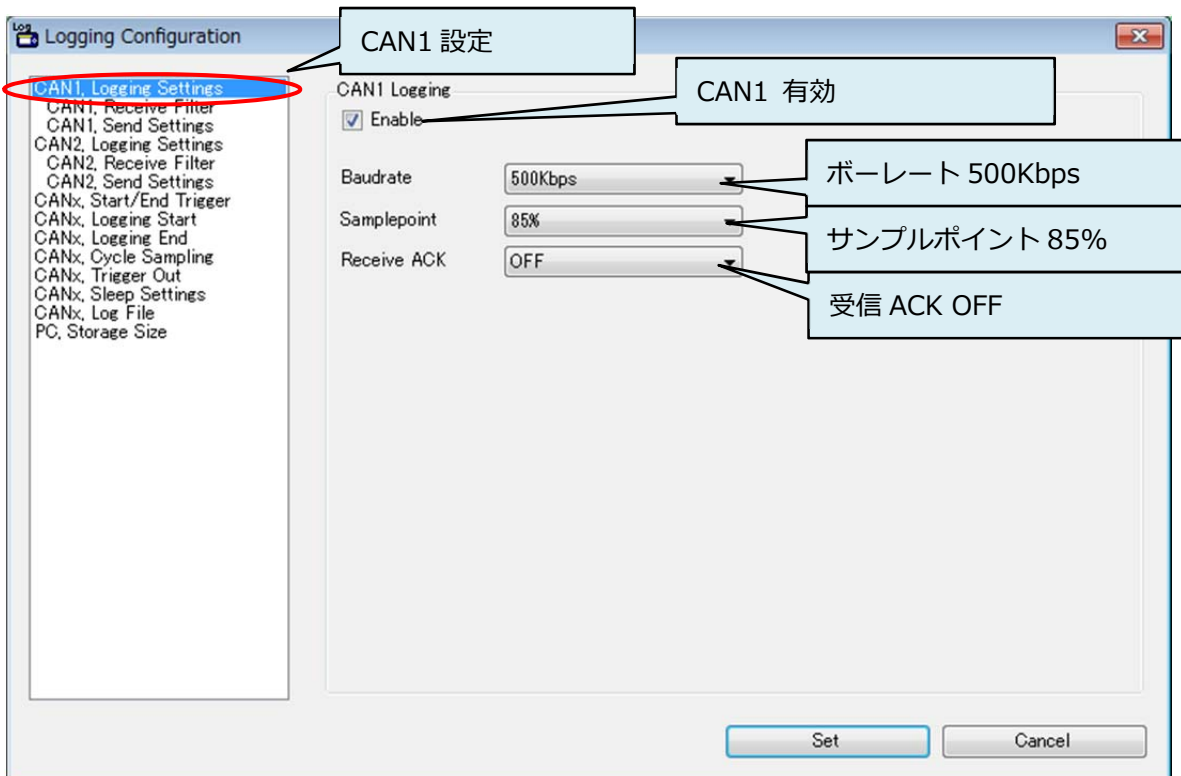
設定例として、次の条件を設定します。

設定項目	設定値
CAN1	有効 ボーレート : 500Kbps サンプルポイント : 85% メッセージ受信時の ACK : なし
CAN2	無効
バスのモニタ開始条件	なし(無条件でモニタ開始)
CAN メッセージのロギング開始条件	EXT キー入力
CAN メッセージのロギング終了条件	EXT キー入力

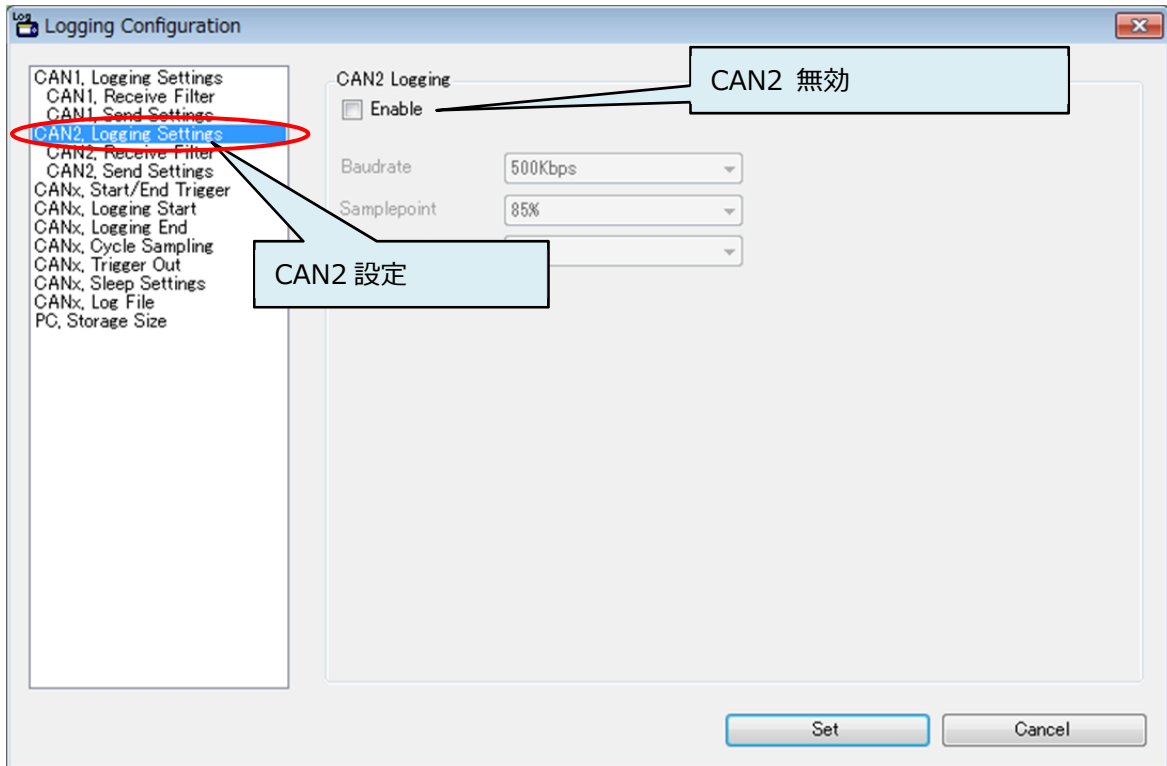


実際に設定するボーレートは、ターゲット側の通信仕様に合わせる必要があります。

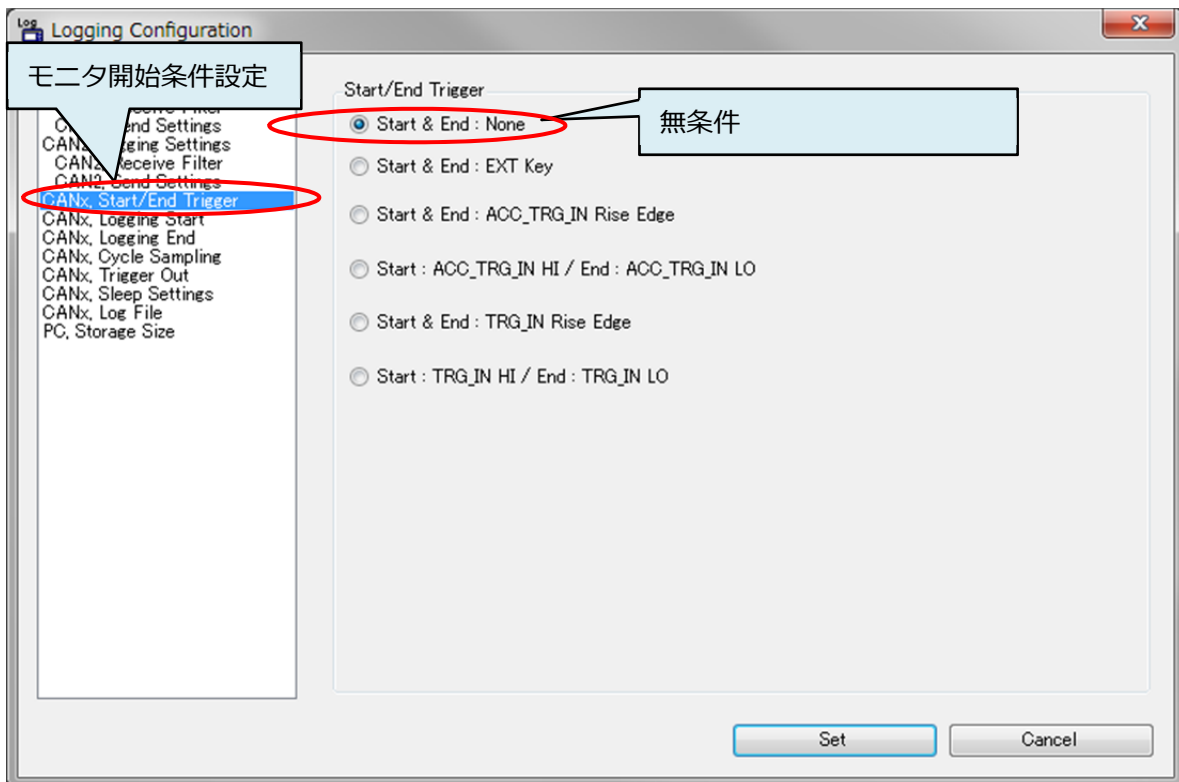
CAN1 の設定はメニューの CAN1, Logging Settings で行います。



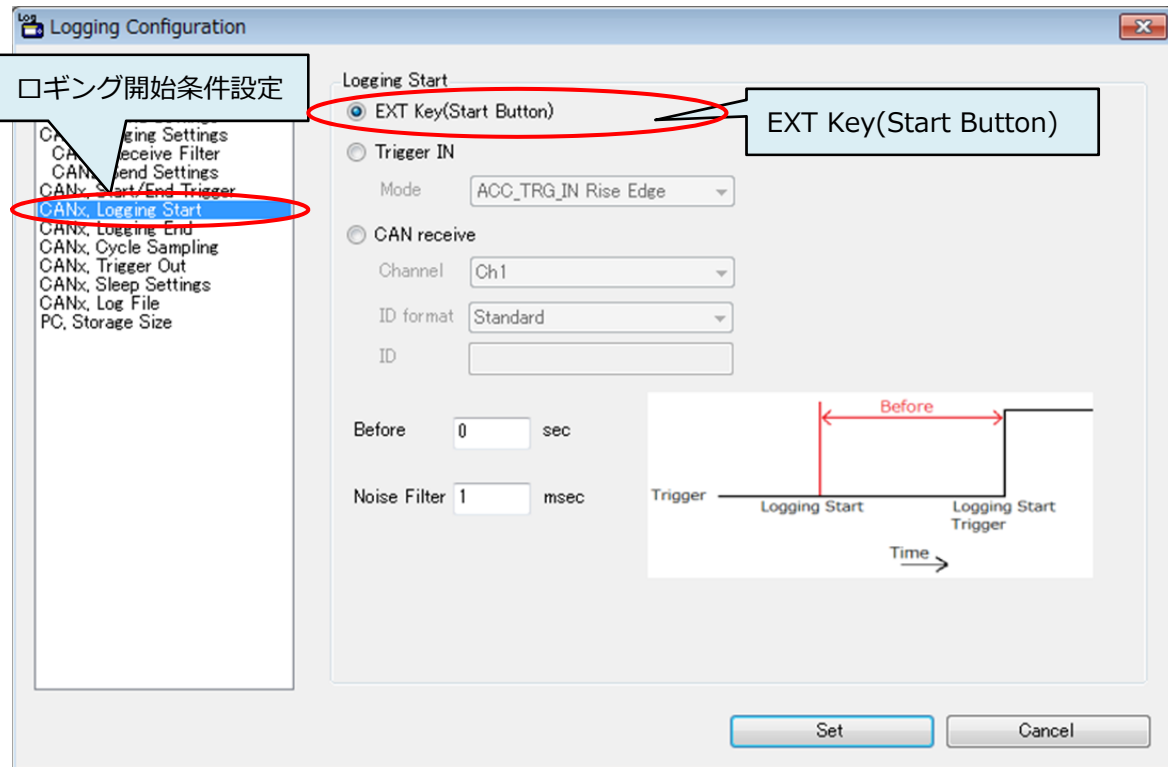
CAN2 の設定はメニューの CAN2, Logging Settings で行います。



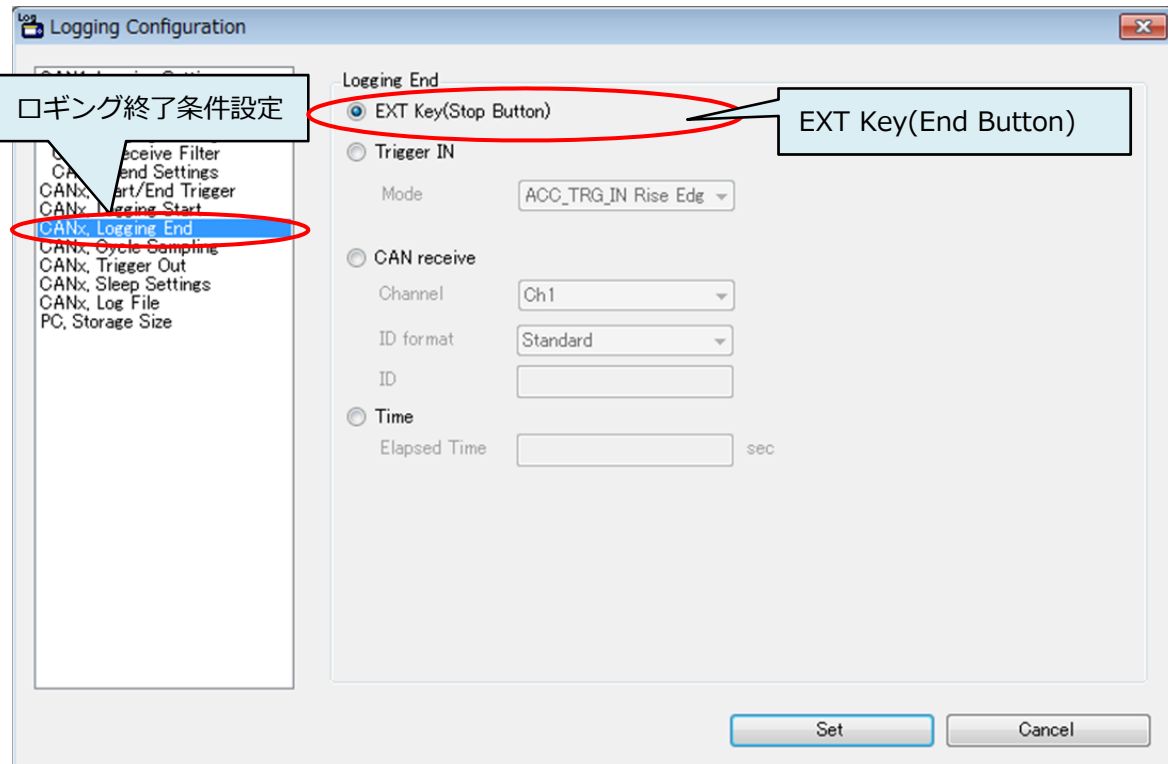
バスのモニタ開始条件設定は、CANx, Start/End Trigger で行います。



CAN メッセージのロギング開始条件設定は、CANx, Logging Start で行います。



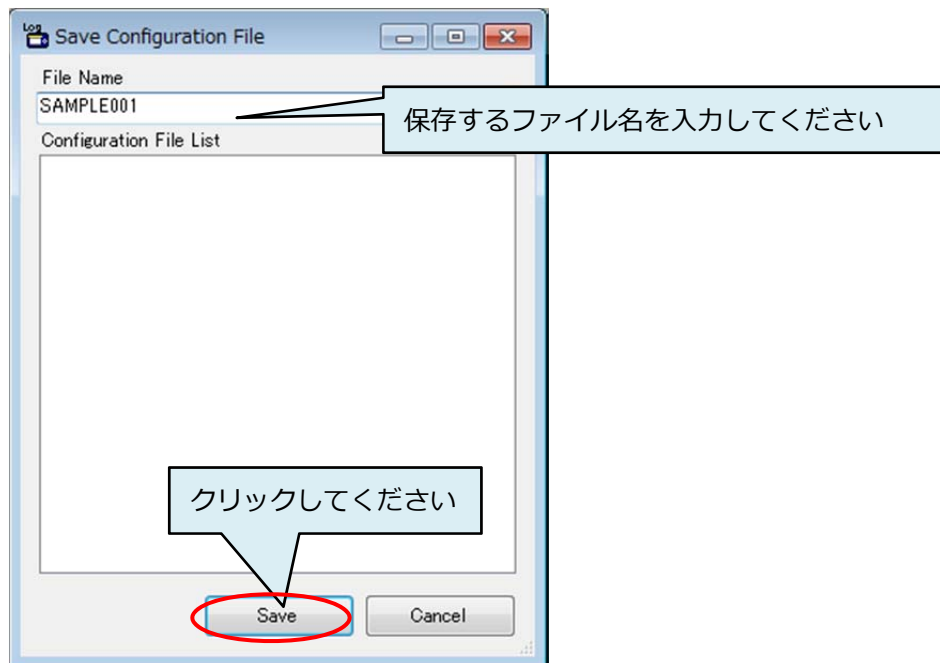
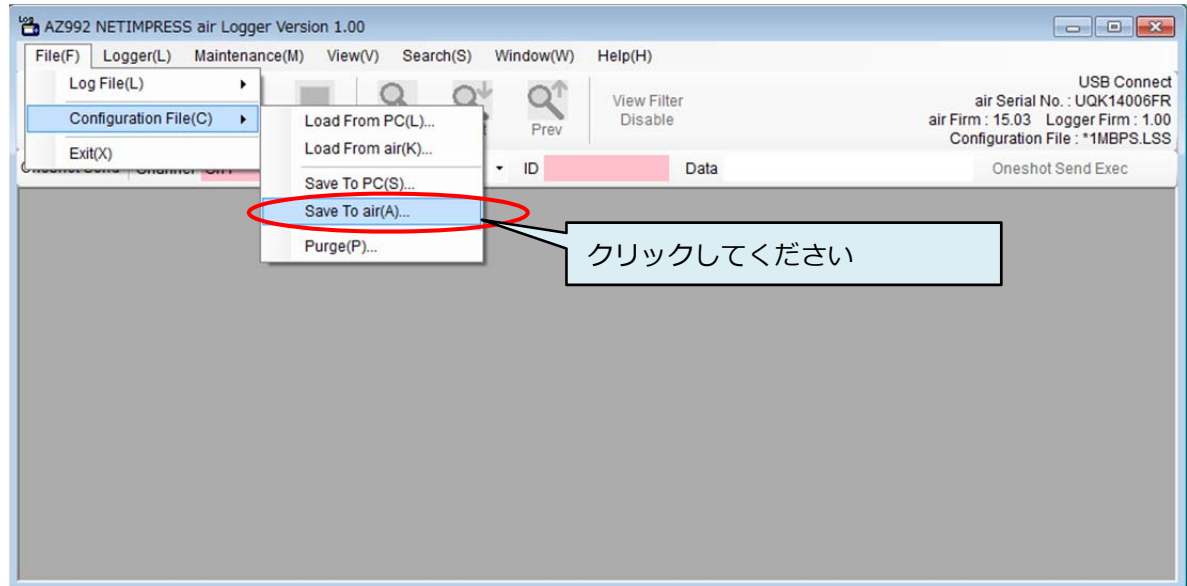
CAN メッセージのロギング終了条件設定は、CANx, Logging End で行います。



設定終了後、“Set”ボタンをクリックして設定を反映します。

SD カードの設定値をロガー設定ファイル（LSS ファイル）として保存します。

(6) “File(F)”メニューの“Configuration File(C) – Save To air(A)” をクリックします。



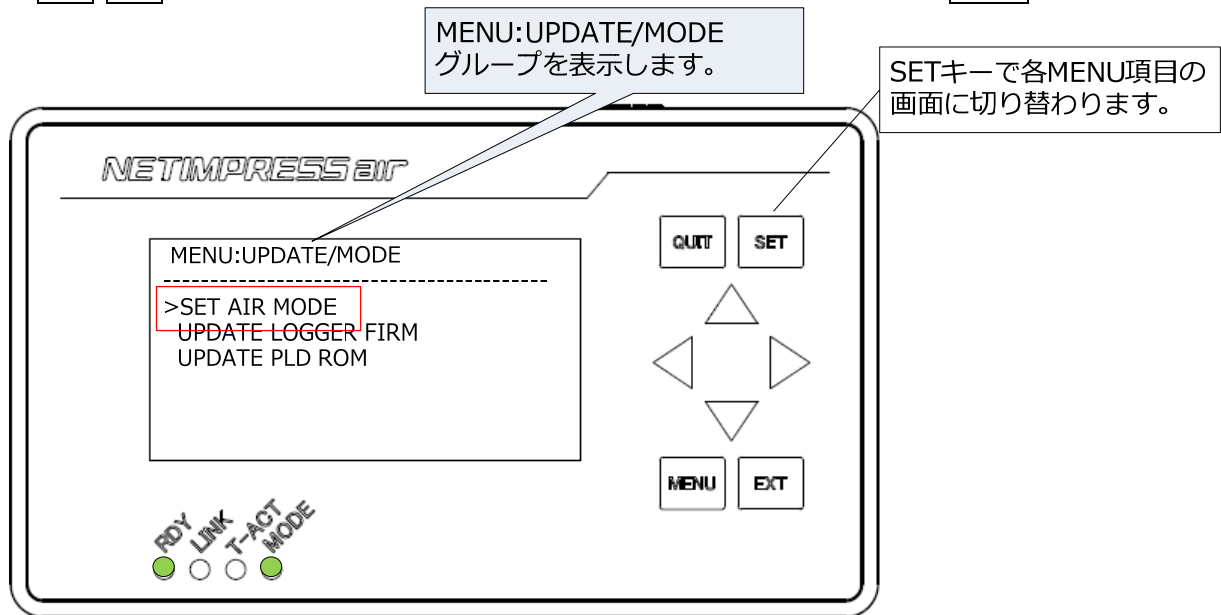
- ✓ ファイル名には、自動的に拡張子.LSS が付加されますので、拡張子の入力不要です。ロガー設定は、ファイルは、専用 SD カードの複数登録が可能です。

(7) Disconnect ボタンを押し、本機との接続を切断し、NETIMPRESS Logger を終了します。

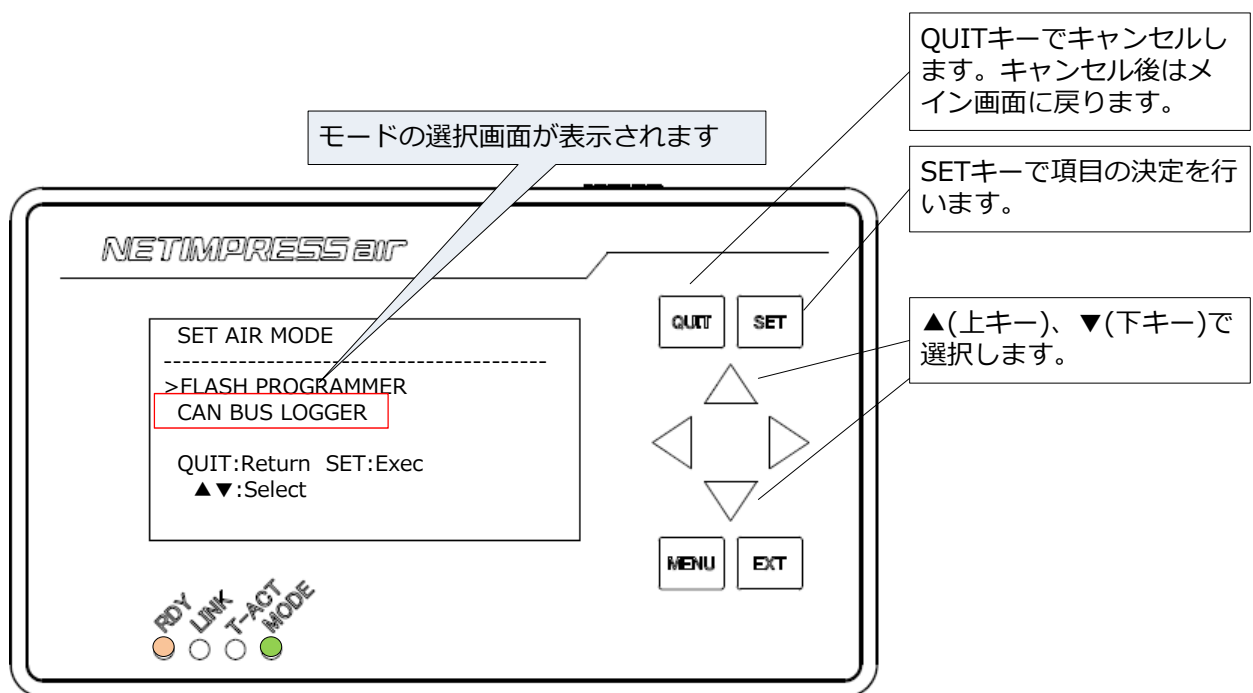
6.2. 動作モードの切り替え

本設定は、スタンバイ動作させる時に、プログラミングモードとロガーモードを切り替えるために使用します。(PCソフトと接続して動作させる時は、内部動作モードは自動的に切り替わります)

- (1) **MENU** **◀** **◀** **◀** のキー操作で MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、
▼ **▼** のキーの操作で "SET AIR MODE" に >(カーソル)を合わせて **SET** キーを押します。



- (2) **▼** のキー操作で "CAN BUS LOGGER" を選択し、**SET** キーで決定します。

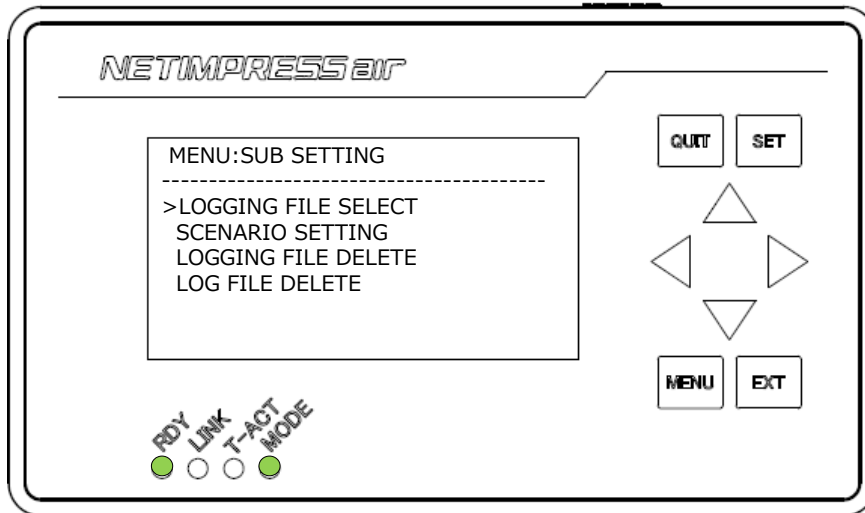


- ✓ 以降、本機の電源投入時には設定した動作モードで起動します。

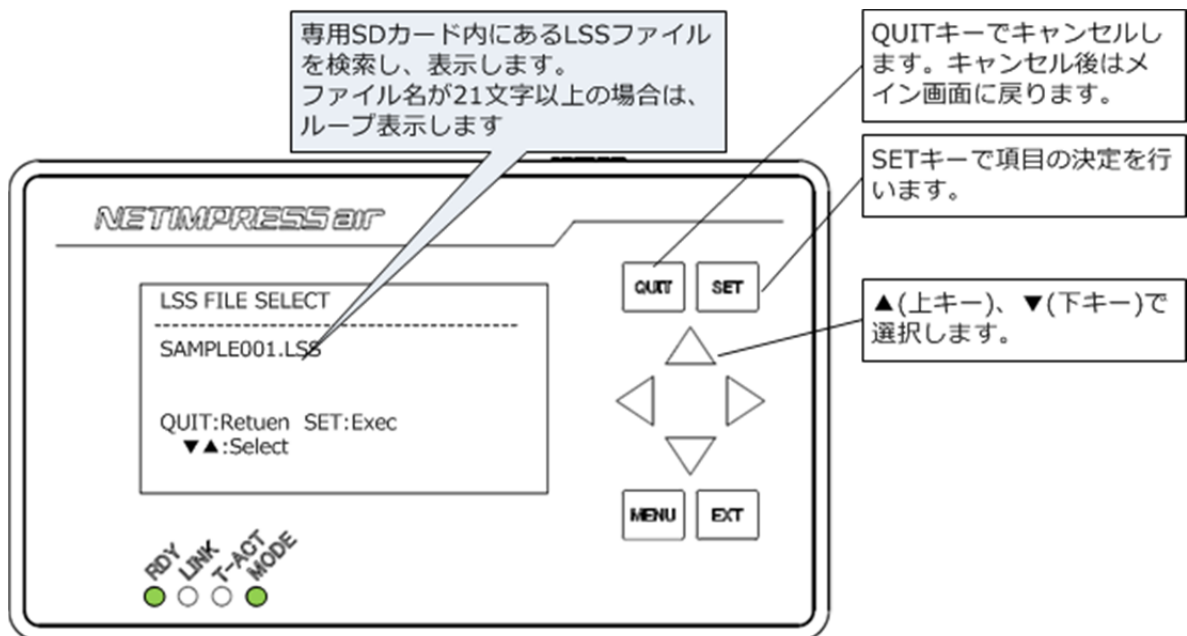
6.3. ロガー設定ファイルの選択

ロギング設定ファイルを選択して、カレントに登録します。

- (1) **MENU** のキー操作で MENU: SUB MENU のグループを表示し、"LOGGING FILE SELECT"に>(カーソル)を合わせて **SET** キーを押します。



- (2) **▲** **▼** キーでロガー設定ファイルを選択し、**SET** キーで決定します。

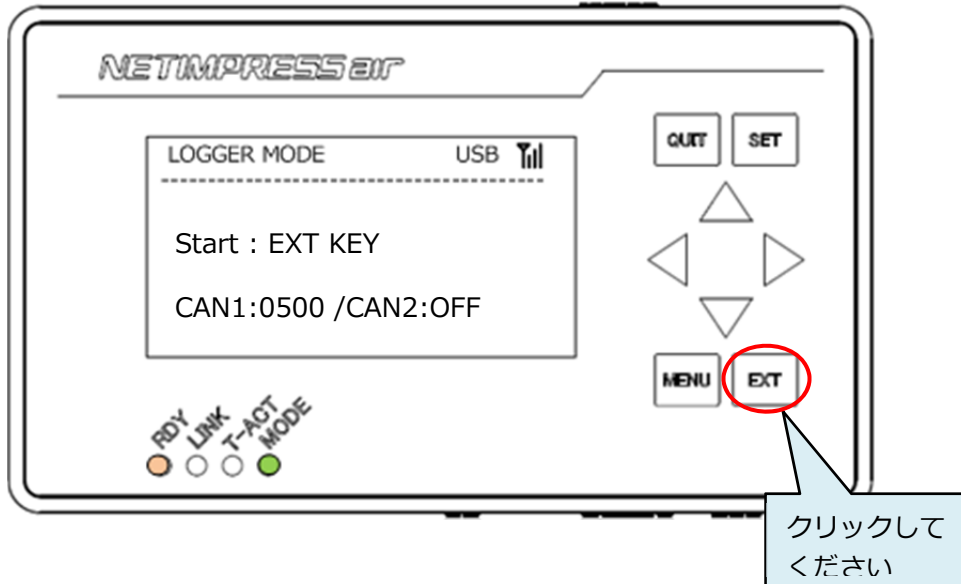


- ✓ 以降、本機の電源投入時にはカレントに登録された LSS ファイルが選択された状態で起動します。

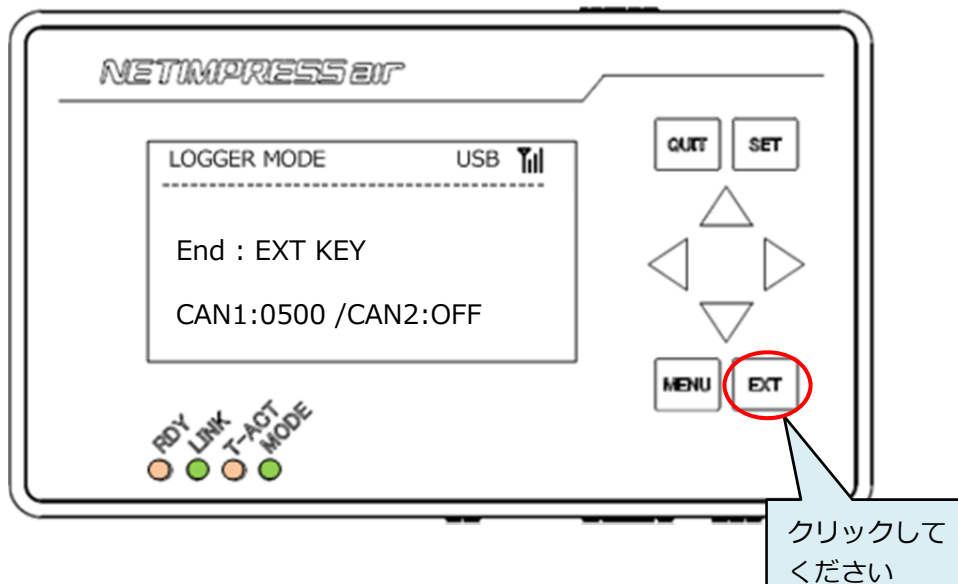
6.4. ロギング実行

6.1章の設定例の内容でロガー設定ファイルを作成した場合は、無条件でロギング開始待ちの状態となります。

- (1) **EXT** キーの入力で、ロギングを開始します。

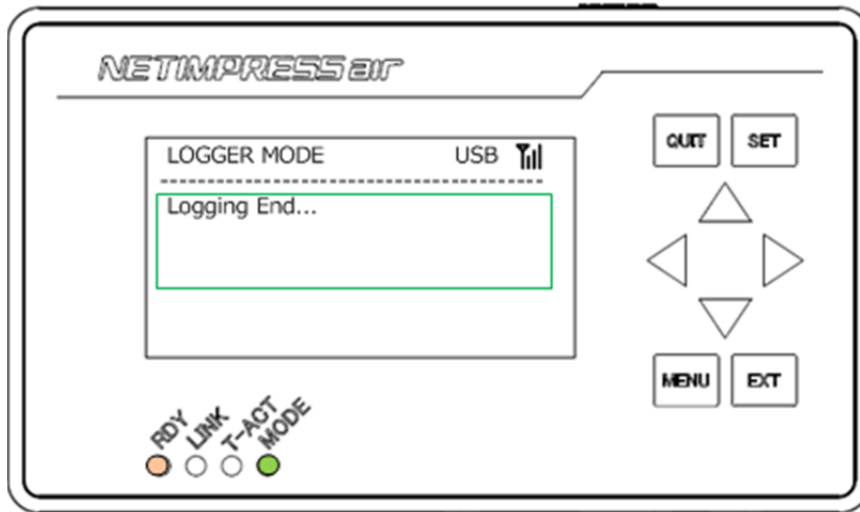


- (2) **EXT** キーの入力で、ロギングを終了します。

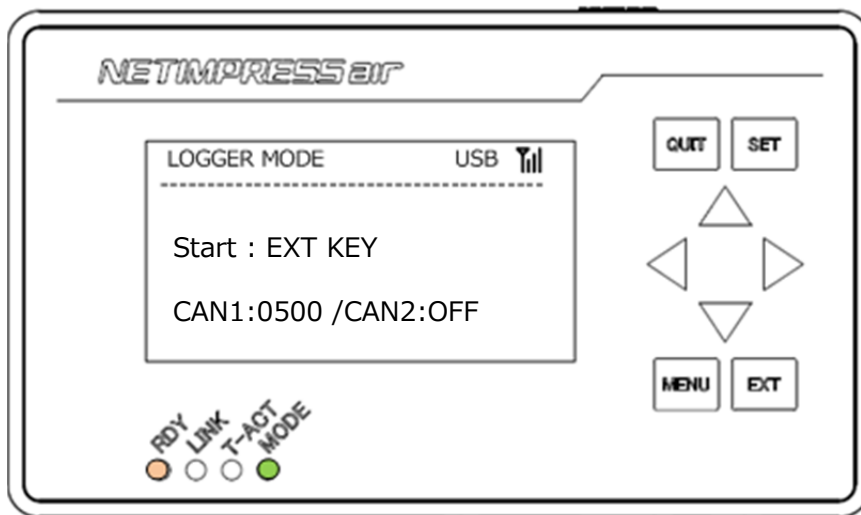


バッファにたまっているログデータを全て専用 SD カードへ保存してロギングを終了します。バッファにたまっているデータ量により、ロギングの終了処理時間が変わります。

! 以下、メッセージ表示中は専用 SD カードの抜き差しは行わないでください。カードを抜いた場合書き込みを行っておりログファイルが破損する可能性があります。



バッファのデータ保存が完了すると、再度ロギング開始待ちの状態に戻ります。



(3) ログデータの確認

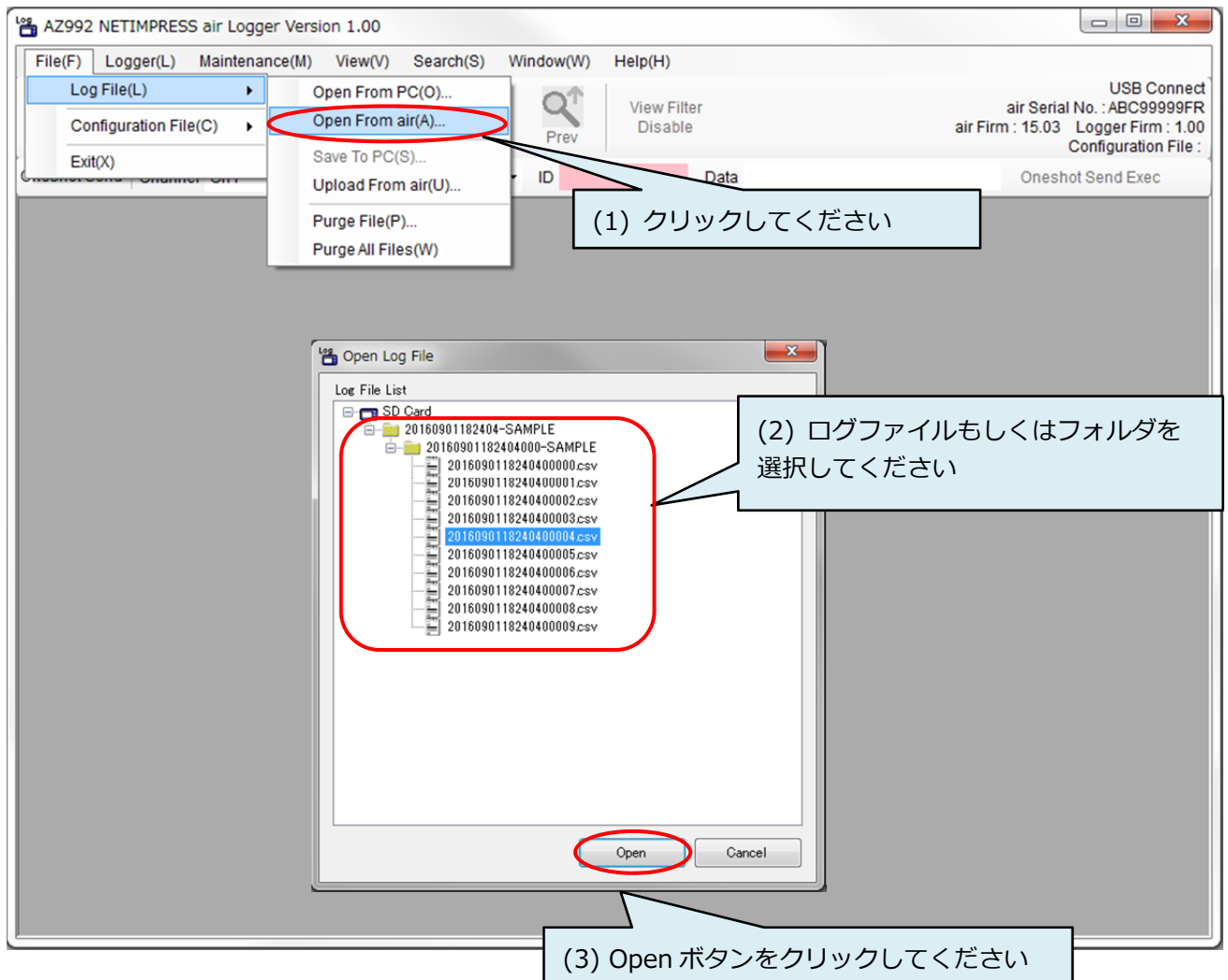
専用 SD カードに出力されたログファイル(*.CSV)を確認するには、AZ992 経由でログファイルを読み出すか、本機に挿入されている SD カードを PC に挿入して直接カードリーダーから読み出す方法があります。

AZ992 での読み出しは、“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Open From air(A)”をクリックします。

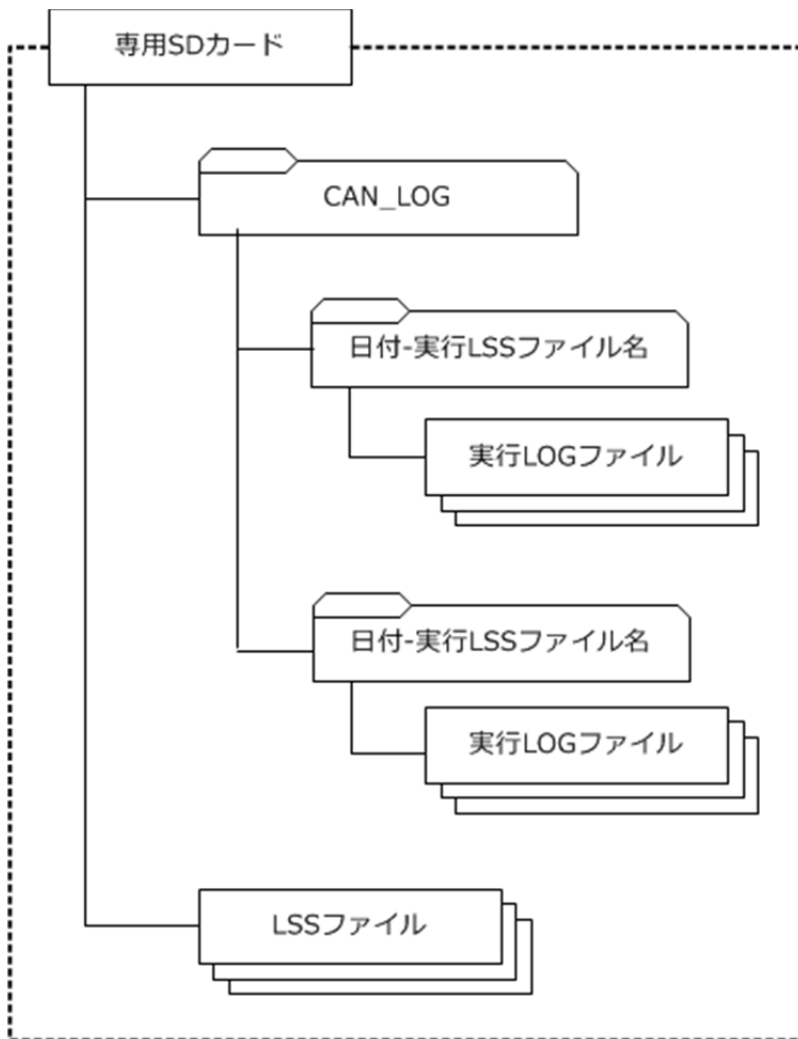
Open Log File 画面に、専用 SD カード内のログファイル一覧が表示されますので、読み込みたいログファイルもしくはフォルダを選択後、“Open”ボタンをクリックします。ログファイルを選択した場合、ファイルを 1 つだけ読み込みます。フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルを結合して読み込みます。

ログファイルの読み込みを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



専用SDカード内で使用する主なフォルダ、ファイルの構成は以下の通りとなります。PCで直接カードリーダーを使用してログファイル(*.CSV)を参照する場合は、以下のフォルダ構成をご確認下さい。





NET IMPRESS air スタートアップマニュアル(ロガー編)

株式会社D T Sインサイト

URL : https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/

2017年6月6日 第2版発行

© 2015 DTS INSIGHT CORPORATION. All rights reserved.

Printed in Japan